

いのち
生命の水 うるおす未来

アジアネット

JAFS

NEWS & REPORTS 2024年夏

158



特集

女子の人権 農村から高めたい

● 主な目次 ●

「巻頭言」新しい地球環境を創る人づくり 02
 特集：女子の人権 農村から高めたい 04~06
 「海外活動ア・ラ・カルト」 07~09
 ネパールに地域の防災拠点完成／ネパール農
 村の食を変える栄養学／バングラデシュの少
 数民族の村を訪ねて
 「井戸ができた村」 10~13
 2023年活動報告・2024年活動予定
 水／貧困対策／環境／子ども／罹災者支援／
 国際交流／国内での普及啓発 14~19
 2024年活動予定 19・20
 2024年度 社員総会報告 21
 「JAFSプラザ」=国内の活動 22~24
 子どもとアジアつなぐお祭り／仲間増えるよ
 う話合いとBBQ／平野の歴史を学ぶウォー
 ク／ひな人形が出迎える旧家 他
 「JAFSのセミナーから」外国人家事労働者 25
 イベントカレンダー-2024年夏 26・27
 新入会員紹介・領収報告 28・29
 「活躍するアジア人」 30
 「環境コラム」 31

アジアネット

JAFS NEWS & REPORTS 158
 2024年夏



アジア協会アジア友の会とは

アジアに井戸を贈ることから地域の自立を目指す国際協力NGOです。1972年に大阪の若者により結成された国際奉仕グループ「エポス・クラブ」が発展し、1979年に大阪で設立。誰もが生まれてきて良かったと思える社会を目指し、2024年3月現在、井戸建設（累計2301基）や植林（累計260万本）、子ども教育支援を中心に活動しています。全国都道府県認可の社団法人取得第1号です。2012年から、内閣府の認定を受けた公益社団法人になりました。

海外との交流・協力活動は、アジア18カ国（インド、インドネシア、バングラデシュ、タイ、マレーシア、フィリピン、スリランカ、ネパール、韓国、カンボジア、シンガポール、ミャンマー、ラオス、中国、ベトナム、モンゴル、パキスタン、アフガニスタン）、さらに西アフリカのブルキナファソにも広がり、70の現地提携団体を通じ、友情のネットワークが形成されています。日本国内でも、各地でチャリティプログラム、自然環境プログラムや、人材育成、留学生交流など行っています。



本会へのご寄付は、寄付金控除の対象です

JAFSは内閣府より公益社団法人としての認定を受けています。JAFSへの寄付金や会費（社員会費は除く）は、申告によって、所得税、法人税、相続税について税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

確定申告の際、税額控除、所得控除のいずれか有利な方を選択できます。本会発行の領収書を添付して申告してください。法人税は損金の額に算入することができます。相続税は最寄りの税務署などにお問い合わせください。

巻頭言

新しい地球環境を創る人づくり



村上公彦
 アジア協会アジア友の会 創設者

「ふり返れば未来」、名言だと思ふ。「この世に存在している不幸の重荷をみんなで一緒に担わなければならぬ」と赤道直下のランバレネ（アフリカ・ガボン）で医療奉仕に生涯をかけたアルベルト・シュバイツァー博士（ドイツの牧師・医師）に感動した少年時代を思いだす。人間の世界は生き物である。期待や予測を常に裏切る怪物である。その怪物が作り出す激動の世界の中に、新しい方向や発展の鍵が潜んでいると言われる。艱難辛苦を経て人は希望（新しい道）を見出すことが出来る。それを信じて策を練る。それが今日の我々の環境である。

1962年夏、日本では海外渡航が制限されていた時代。アジア各地を約1カ月かけて巡るアジア・スタディ・セミナーに参加する機会を頂いた。21歳の時である。私にとって欧米が世界であった時代に、アジア世界の一角に触れることが出来た。そこで、貧困の実態を垣間見た。私の心にアジアへの関心の種が播かれた。早速「アジア研究会（ASG）」を立ち上げた。その間、インドとスイスに留学の機会を得た。海外医療協力会（JOCIS）での業務はいい体

験となった。海外出張の機会が多く与えられた。アジアの各地を回って気づいたのは、海外医療協力は対象地域全体の生活問題と深くつながっていることだった。この体験は、大きなヒントになった。貧困問題は地域だけの問題ではなくアジア全体の問題でもあった。

アジア各地のネットワークの必要性を強く感じた。1979年10月、思い描いていた活動の種が、やっとJAFSとして芽を出した。振り返れば、種まきから発芽迄17年掛かった。本会に係る活動は、究極的には地球環境を整えることである。

地球環境、即ちオイクメネー（「人間が住んでいる地」という意味のギリシャ語）とは、人間生活の全領域を指すものである。自然環境や資源環境、経済環境だけでなく、人間の心や魂の環境も考慮しなければならぬ。市民によるボランティア活動は、単なる援助活動ではない。地球環境の創造に貢献する人間

プロフィール

むらかみ・きみひこ 1941年大阪府生まれ。65年同志社大学大学院修士課程修了。65〜67年インド・パナゴールUTC留学。68〜80年JOCIS勤務。70〜71年スイス・ジュネーブ大学エキュメニカル研究所留学。79年JAFS創設。2009年タイ国立ランパン大学より名誉博士号授与。24年6月までJAFS専務理事。現在、日本キリスト教団履屋川教会牧師。

を創り育てる活動である。そこに市民活動の意義がある。人づくりとは、より広い世界を知る機会を提供することだと、先に述べた自分の体験から悟った。そして自分が歩むべき道が備えられていたのを感じた。

本会設立45年、及ばずながら何とか形（活動の場）が出来たように思う。選手交代である。今後、新しい人間の生き方に希望が持てる活動へと発展していくことを期待されている。人は新たな課題を見つけることによって、新たな創造への意欲が加えられてくる。新しい意欲には、新しい革袋が必要なのである。

最後に、業務退任にあたり一言、永年この活動を忍耐強く支えて下さった皆様に、改めて深い感謝をもって心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともご支援をお願い申し上げます。

JAFS 会員綱領

- 私たちは、世界の平和と人間の基本的人権を守るために人々との「友情と信頼」に基づく「理解と協力と連帯」の輪をアジアと世界に広げます。
- かかる目的をもって私たちJAFS会員は以下のことに努めます。
- 一、より人間らしい地球社会の創造をめざします。
 - 一、アジアと世界の人々の幸せに奉仕します。
 - 一、地球の自然環境を大切に守ります。
 - 一、生活の無駄を省き、地球資源を大切にします。
 - 一、これらの奉仕活動を通して、自分と他人の生命の価値を高めます。
- 以上

女子の人権 農村から 高めたい

特集



インド社会の変化映して

創立28年コスモニケタン学園の取り組み

インドの貧しい農村の子どものために、JAFS協力の下、カルナータカ州の提携団体BSVIAが1996年に設立した日印友好コスモニケタン学園（小中学校）。これまで多くのご支援を得て、たくさんの卒業生が社会に巣立っていきました。コロナ禍では経済的理由などで退学する生徒が増えたことによる経営危機で、2022年、財政基盤を安定させるために、皆さんのご支援ご協力をいただいてサトウキビ栽培を始めました。干ばつに見舞

われるなど天候に恵まれず、これまで満足な収穫量は得られていませんが、努力を続けています。一方、インドの教育事情も学園設立当初とは大きく変化しています。この状況下でもコスモニケタン学園での教育を求める子どもや保護者の期待に沿えるよう、また変わりつつあるインド社会を生き抜くき、より良くする大人になれるよう、教育の方向性を変えつつある学園からの報告をお伝えします。（JAFSコスモニケタン支援会 大本 和子）

無償の公立小中学校が村々に

2021年以降、カルナータカ州政府は、コスモニケタン学園近くの各村に数校の公立中学校を設立。教科書、制服、給食、そしてもちろん授業料も無料で教育を提供するようになりました。以前は人口3千人以下の村には中学校がありませんでした。また現在、公立小学校も全て無償になっています。多くの貧しい子どもたちが、無償の小中学校教育を受けられるのは喜ばしいことです。しかし制服代や諸費用が必要な学園が、十分な生徒数、特に小学生を集めるのは少し難しくなるでしょう。

日本の多くの方の協力で開校でき、20年余りずっと支援してくださった日本人の方々への恩返しのためにも、学園が地域の子どものためにも果たしてきた教育の役割を、将来にわたり続けていかなければと思っています。

質の高い教育で文武優秀

コスモニケタン学園の設立当初から熱意の高い教師たちがいます。子ども一人ひとりの総合的な発達を目標として、生徒の道徳的・身体的・学問的能力の向上に熱心に取り組んでおり、生徒とその保護者に満足していただいでい

英語での授業を再開

学園では、カルナータカ州の公用語であるカンナダ語（インドは州ごとに公用語が異なります）で授業を行っています。今年6月から英語で授業するクラスを再開し、幼稚園児から受け入れる予定です。既存の校舎を使って始め、年々上級学年クラスを増やしていきます。

女子高校開設を求める声

また2025年に女子高校を開設する計画を進めています。これまで女子は男子に比べて教育が軽んじられる傾向があり、例えば学園でもコロナ禍で失業した家庭で、口減らしのために12歳の娘を退学させ結婚させたケースもありました。しかしコスモニケタンで学んだ女子生徒には、中学課程を卒業後、高校に進学したい熱意のある子どもが多くいます。

ですが現在は高校に行くのなら、家から30分ほど離れた中心都市ビジャパールまで長時間バス通学をしなければなりません。保護者は安全上の理由から、このような長距離バス通学を娘にさせたくありません。なぜならインドでは、バスの中で女性が暴行される事

地球環境にも貢献

気候変動のためか近年頻発する干ばつなどの環境異変は、人々に将来の不安を感じさせています。この点でもコスモニケタンの役割は貴重です。スポーツの地区大会などが学園で実施されることがよくありますが、他校からの参加者の中には、チリ一つ落ちていない校舎や緑豊かな環境にあこがれて転校してくる生徒も少なくありません。

過去30年間、BSVIAはJAFSと協力して環境問題に熱心に取り組み、国際植林キャンプなどで延べ数千人の生徒と自然保護に取り組んできました。毎年、コスモニケタンを卒業する生徒が植樹し、後輩たちにその世話を引き継いでいきます。表紙写真。学園は、地球社会の健全な未来にも貢献しています。

（BSVIA代表
サチダナンド・クンパール）

▶バングラデシユの農村の女子教育について、特集は次ページに続きます。

生徒たちは休み時間になると、狭い教室から校庭に飛び出しても元気が

つばいインド、カルナータカ州ビジャパール、コスモニケタン学園

ます。この結果、中学校卒業認定試験で地域トップの成績を示し、地域のスポーツ大会でも常に優秀な成績を収めています。ここにコスモニケタンが存在する意義があると信じています。

生徒たちは地元や近隣の村に公立学校があるにも関わらず、50分離れた辺鄙な村からも、そして多少の自己負担があっても学園に来ています。このこ

とは、コスモニケタンで質の高い教育を受けたという子どもたちや保護者の要望の高さを示しています。

全ての子どもが等しく教育を受ける権利を有するのみならず、発展しつつあるこれからのインドでは、能力を伸ばし高める権利も、貧富を問わず、住む場所に関わらず、全ての子どもが持つものと考えています。

女子の教育機会が児童婚防ぐ



「バングラデシュの女子生徒の教育の機会を増やしたい、教育向上に力を貸してほしい」。そう訴えるのは、現地提携団体Basic Development Partners（以下BDP）の代表ヘモント・コライア氏。理由は児童婚を防ぐためです。

バングラデシュの特に農村地域では、児童婚が未だ多い状況です。コロナ流行以降、18歳までに結婚する女の子の割合が13%増え、51.4%になっています。一方、男の子が18歳までに結婚する割合は4%程度です。法律上、結婚できる年齢は女性18歳以上、男性21歳以上と定められています。守られていないことが数字から見えてきます。

BDPが活動している地域のうち、ネトロナ県とジャマルプール県では貧困率が高く、教育を受けたことがない家庭も多くあります。そのためBDPが支援する子どもたちの両親も教育を受けたことがなく、教育の重要性を十分に理解しておらず、児童婚の認識が不足しているなど、教育に関する情報が不足している家庭が多く存在しています。

そのような状況を少しでも改善していくこうと、BDPは長年、教育分野を

アジアの子ども教育支援「里親の会」

子どもの健全な育成に必要な教育。しかしアジアには、家庭の経済的理由や、教育の重要性への理解不足などにより、学校に通えず教育を受けられない子どもが今なお多くいます。家事手伝いや、家計のために働きに出される子、結婚や仕事のため途中退学する子もいます。

そのような子どもたちが教育を受け続けられるよう、インド、カンボジア、ネパール、バングラデシュ、フィリピンの子どもたちを日本から教育里親として支援していただくのがJAFS「アジア里親の会」です。教育を受けることで、多様な就職や手に職をつけられる可能性が子どもたちの未来に広がり、貧困の連鎖からの脱出が期待されます。**教育里親になっていただけませんか。**

- ◆年会費3万円（里子1人当たり）
- ◆里親になると①里子の写真と生い立ち記録を受取②年1回、里子の成長記録・写真・手紙など受取③手紙などで里子と交流可能（翻訳をお手伝いしますので言葉の心配不要）



ウェブ申込はこちら
 ◎問合せは事務局まで◎

中心に活動を展開しています。「私たちは1年や2年の短期間ではなく、何10年も同じ地域で教育活動を続けていきます。継続して活動している私たちがからこそできるサポートがあり、信頼関係を築くことができます。そのため、私たちが関わっている子どもたちの両親には、教育の重要性を心底理解してもらえます。多くのNGOが短期間で事業を終えてしまいますが、私たちBDPは地域に根付くまで活動を続けています」とヘモントさんは言っていました。

と、親に教育の重要性を理解してもらうことの双方が、教育向上を目指すには必要です。特に弱い立場に置かれている女の子たちを重点的に教育サポートすることで、児童婚を防ぐことができ、より多くの子どもたちに教育の機会を与えることができます。JAFSも、アジア里親の会を通じて、バングラデシュの子どもたちの教育を支援しています。学費が払えない子どもたちの中等教育課程の就学を今後も支えていくと同時に、多くの女の子たちの教育を支援していきます。

（JAFSスタッフ 坂口優）

海外活動ア・ラ・カルト

シンドバルチヨーク郡インドラワテイ村に、地域の防災力強化に役立てるためのコミュニティセンターが完成し、4月23日に竣工式・引き渡し式を行いました。写真。在ネパール日本大

使館の菊田豊特命全権大使を来賓に迎えて竣工のリボンカット。JAFS篠原勝弘会長、松原正理事、渡辺治彦理事の立ち会いのもと、村の行政長と地域コミュニティに引き渡しを行い、今後

この地域の防災力向上拠点として大いに活用いただくことを約束しました。センター責任者のジーワン・タバさんに、今後の抱負と、地域づくりに関するの考えを聞きました。

（JAFSスタッフ 熱田典子）

私たちの村にとって4月23日は、地域の皆さんが、この防災力を高める事業をはじめとして地域発展を目指す活動をする大きな契機になりました。JAFS篠原会長が初めてネパールを訪ねてくださり、在ネパール菊田日本大使が日本を代表してご臨席くださったことは、村全体に事業の注目度の大きさを伝えてくれるものになりました。

このような機会をJAFSが村に作ってくれたことに感謝しています。ここ数年、道路整備が進み、カトマンズ行の定期バスが1日2回走るようになりましたが、それまでは外との往来も少なく取り残された地域でした。

2015年の地震の時には道路が寸断され、まさに陸の孤島となりました。自分たちで何とかしなければ誰も来てくれませんでした。そのため地域防災は私たちに欠かせないポイントです。しかし日々の暮らしが苦しく、実際に災害に遭わなければ防災の重要性

に気づかない人たちが多く中、それを理解する人を一人でも多く増やさなければなりません。ある村人が「気づいたら自分の家と隣りの家の間隔が狭まっていた」と私に話してきました。引越す必要があるような土地で暮らしていると気づいていないことに困惑します。また「地震の時には机の下に隠れると安全」という1点だけが独り歩きして、建物の安全性を判断しないまま机の下に隠れ、建物の倒壊で亡くなった人がいました。皆が総合的に判断できる知識を持たなければなりません。

コミュニティセンターは村の新たなシンボルとして私たちが大切に育てていかなければなりません。23日に菊田大使から「災害が多い日本の経験と技術をこの地域に生かしてください」との言葉を期待しています。センターに刻まれた碑「People of JAPAN」からは、建設資金に日本国民の協力があり、この地域の発展に日本が大きな期待を持っていると分かりました。篠原会長からは「今後、コミュニティセンターの自立運営を頑張ってください。防災事業と共に、農業による収入向上、栄養プログラムなどと合わせて地域の生活の質向上に大き



皆で始める防災力をもつ地域づくり ネパールにコミュニティセンター完成

く役立つことを期待しています」とのメッセージをいただきました。

この期待の一つ一つをこれから私たちが実行していかなければなりません。皆さんが期待くださっているように、地域を良くするには一つの活動だけではなりません。全てが連動します。経済状況の悪い人たちに水環境を整え、農業指導をし、子どもたちが教育を受けられるよう、JAFSと共に活動してきました。私は今、村の公立高校の運営委員会に関わり、子どもたちの健全育成のための新しいプログラム作りをしています。そこでも防災の観点が重要であり連動すると気づきました。同じように村人全員に理解してもらおう役割をコミュニティセンターは持っています。あと2年続く事業の中で多くを学び地域を良くするために、センターを育てていきます。

(コミュニティセンター責任者
ジーワン・タバ)

※この防災力強化による農村開発事業は2023〜25年度まで実施します。防災を取り入れた地域づくりのモデル地域となることを目指しています。

日本NGO連携無償協力(N連)の資金を得てコミュニティセンター建設と防災教育を行っています。同時に進める農業や教育支援には皆さまのご協力が必要です。応援・ご支援お願いいたします。

成長阻害につながっています。もちろんこの問題以外にも、経済的に苦しい世帯では毎回の食事の量は少なく質も悪く、彼らの食生活の実態を聞いてみると胸が苦しくなるほどです。

私は教育学が専門ですが、学ぶ上で栄養学を勉強しなければ児童生徒が抱える問題を解決できないと考えて、博士課程で栄養学を学ぶことにしました。これまでは農村地域の現状を知る機会があまりなかったのですが、今回のプログラムで、考えていたよりもはるかに悪い実態が分かり、驚いています。

少しでも現状を改善するために、全ての世代に対して「食」により健康が維持されることをしっかり伝える巡回指導を進めていきます。そして、私たちのように栄養学を学んだ者が農村地域の栄養改善に直接関わる効果を、多くの人に知ってもらいたいと考えています。実演調理したものを子どもたちが試食して「おいしい!」と笑顔で言ってくれると、とても嬉しいですね。そんな笑顔が毎日の食卓で見られることを目指していきます。

(トリブヴァン大学博士課程教育栄養学専攻 エソダ・パランジャー)

※本事業の一部は味の素ファンデーションの助成を受け実施しています。本栄養事業がネパールで根付くために応援をお願いします。

新しい味と作り方の発見で健康に ネパール農村の食を変える栄養学

ネパール国立トリブヴァン大学栄養学科の博士課程で学んでいるエソダ・ウプレテイです。JAFSが実施する「キッチンカー活用による、栄養学科大学院生徒育成と食生活改善活動」の学生リーダーを務めています。事業の目的は、農村地域の人々の食生活改善と健康への意識向上と継続的な地域食生活改善活動の定着です。カトマンズ北東の農村と南西の農村で、栄養改善

プログラムを教授3名、学生30名で進めています。ネパール全体に栄養の課題が山積んでいます。主な原因は、山国なので栽培できる作物が限られていること、道路など交通網の発達が遅れており食料の流通が発展していないこと、生活に足る収入が得られない人が多いことです。



カボチャを材料に実演調理したハルワを試食する村人たち＝1月3日、ネパール、ナワルプール郡ビトゥリ村

多くの家庭の食生活は、決まった作り方とメニューの繰り返しです。ですから、農村地域で私たちの栄養改善プログラムを通して新しい味を体験してもらい、関心を持ってもらうことから始めました。一番印象的だったのは、穀物で作るハルワという伝統的なおやつを、材料をカボチャとトウキビ砂糖に変えて実演調理した時の、人々の驚いた様子でした。カボチャは通常ネパールではおかずに使われ、お菓子など甘い味で食べることはあ

りません。そのため農村地域の人たちにとって初めての味の経験です。自分たちの周りにある材料で、こんなにも違う味のものをおいしく食べられるのだと楽しさを感じてくれました。栄養改善をする上で、大変重要な点です。

このプログラムの調査で、青少年の低体重率が7割を超えることが分かりました。また1割以上が、必要な栄養摂取量に対し不十分な食事しか摂れていません。彼らに「皆さん何が好きですか?」と聞くと、「ごはんと葉っぱのカレーです」「僕は、ごはんと肉のカレーが好きです」と模範的な回答が返ってきます。しかし「家に帰って何を食べますか?」と尋ねると、「インスタントラーメン」「お小遣いをもらった時はモモ(ネパール餃子)」「ピスケット」という子がほとんどです。

ネパール料理は、本来の基本を大切にすると栄養バランスがとれる食事ですが、農村地域では限られた食材しかないため、季節ごとに毎日同じメニューになります。親世代以上はこれまでの単調な食生活に慣れていますが、子どもたちはネパール料理とは違う味覚を求めるようになっていきます。しかし親はそれを作ることはできません。違う味を食べようとすると、農村地域では安価なインスタントラーメンやモモになり、子どもの食が進むので、親もそれを食べさせたりします。その結果、栄養が十分ではなく子どもたちの

言語が消える少数民族 バングラデシュ



グラデシュのコーチ族の多くは、ダッカ県の北西に位置するインド国境沿いの小さな地域に住んでいます。今回訪れたガジプールのコーチ族は、これらの人々とは交流がありません。この2地域のコーチ族はチベット・ビルマ語系のコーチ語を話していますが、ガジプールのコーチ族は、ベンガル語がもはや言語となつています。

彼らは農業を主な生業としており、一部は自分の土地を耕し、大半は近隣のベンガル人の下で土地なし農民(日雇い労働者)として働いています。彼らは泥の壁と床、茅葺きやトタン屋根の簡素な家に住んでいます。村には約120世帯700人のコーチ族がおり、そのうち自分の土地を持っているのは8家族のみです。小学校はありますが、中学校や保健所はありません。昔の日本の農家のように牛と一緒に住んでいる人もいます。

3月2日にバングラデシュのダッカ県ガジプールのバワル国立公園内にいる、少数民族コーチ族のピンガイル村に、AFSバングラデシュのメンバーであるモンドルさん(デイリー・サマカル新聞編集員)と視察に行きました。バワル国立公園は1974年に設立されました。ここに住むコーチ族は、どのような人々なのだろうか? 私はこれまでバングラデシュを30回以上訪

ねています。この少数民族の名前を聞いたことがありませんでした。バ

ン

ン

ン

ン

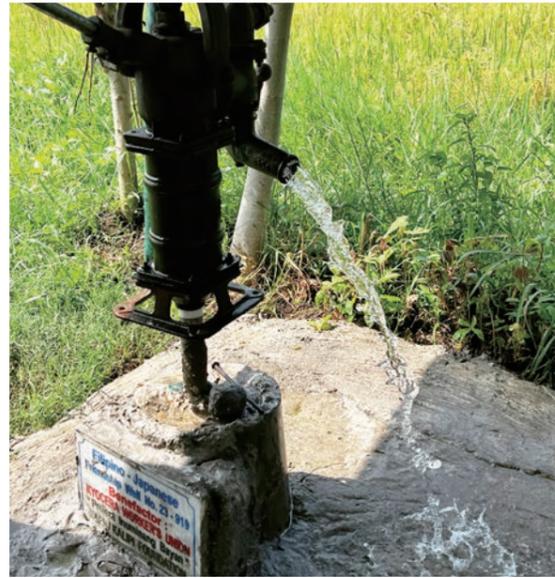
ン

ン

衛生的な水で清潔な暮らし

村には浅井戸が1基ありますが、畑に水をやるために作られたもので、飲用には向かないものでした。飲み水を得るには、近隣の井戸まで水をくみに行かなければならず、水を運ぶ重労働のために発展から取り残された地域でした。安全な水を得ることが可能になり、健康で便利な生活が送れるようになって、村人たちはとても感謝しています。衛生的な水が使えることで、子どもたちも、より清潔な暮らしを送ることができます。本当にありがとうございました。

又エバエシハ州カピアオ市サンフェルナンドスル村
 受益者：30世帯と近隣農民150人
 井戸の形式：ポンプ式（深さ30m）



【寄贈者】京セラ労働組合様

ご寄付には
 税の優遇措置が
 受けられます

いのち 生命の水 うるおす未来

井戸の寄贈にご協力ください。あなたの力がアジアの人々の命を助けます。ご寄贈者に完成報告書、写真をお届けし、現地の井戸に、ご寄贈者のネームプレートを設置します。

■井戸1基ご寄贈の場合に必要な費用■（2024年4月改定）
 インド=60～80万円 フィリピン=45万円 カンボジア=28万円
 スリランカ=40万円 バングラデシュ=25万円
 ネパール=20万円（パイプライン=25～400万円）

※現地の建設・資材費上昇により改定。3年間のメンテナンス費、現地管理費を含む。
 ■少額寄付で「みんなで井戸募金」■ 1,000円以上の任意額のご寄付で井戸建設にご協力いただけます。20万円以上のご寄付でネームプレートに記名いたします。

■お振込み先■ ・郵便振替 00960-6-10835 アジア協会アジア友の会
 ・三菱UFJ銀行大阪中央支店 普通1968711 公益社団法人アジア協会アジア友の会

詳しくはアジア協会アジア友の会
 ☎06-6444-0587へ

安全で衛生的な水を確保できないアジアの地域に井戸ができて生活基盤が整い、自立へ一歩踏み出せるようになりました。ご寄贈くださったみなさまに感謝申し上げます。

みなさんのおかげで 井戸ができた村

【寄贈者】京セラ労働組合様



又エバエシハ州カピアオ市カピアオ公立高等学校
 受益者：学生2300人、教職員20人、住民180人
 井戸の形式：ポンプ式（深さ30m）

安全な水で勉強に集中

学校には以前に水道が設置されましたが、灰色か黒色の水しか出てこなくなりました。飲むには適さず、トイレにのみ使っていましたが、井戸ができて衛生的な水が使えるようになりました。学校でおいしい安全な水が飲め、安心して学習に集中できるようになりました。生徒たちは井戸の近くに水耕栽培で有機野菜を作る農場を作りました。野菜を育てて販売し、収入は生徒たちに分配する予定です。子どもたちが健康的に、夢や希望を持って勉強が続けられる大きな力になっています。

水を探さない安定した生活

井戸を寄贈くださったおかげで、安全な水を得られるようになりました。井戸ができて、とても喜んでます。村人のアイデアで井戸の横に小さな水タンクをつくり、誰もが水にアクセスしやすくなりました。子どもたちはとても楽しそうに水を使っています。村で衛生的な水が使えることで、子どもやお年寄りが、水が原因の病気や脱水症状になることが減りました。水を探さなければならぬ不安定な生活から変わったことに、心から感謝しています。



又エバエシハ州カピアオ市サンタイサベル村
 受益者：15世帯75人
 井戸の形式：ポンプ式（深さ30m）

【寄贈者】京セラ労働組合様

長年願った安全な水

村には井戸がありませんでした。雨水に頼る小さなため池が作られ、この水を沸騰させて飲むしかできませんでした。村の中心部に給水所はありますが、とても遠いです。新しい井戸で安全な水が得られるようになり、ため池の近くなので、村人たちは用途によって、どちらの水も使うことができます。水が原因の病気になることが減りました。村で安全な水が得られることは長年の願いであり、井戸が今後長い間使えるよう管理していきます。本当にありがとうございました。

又エバエシハ州カピアオ市シニピット村
 受益者：15世帯と近隣農民150人
 井戸の形式：ポンプ式（深さ30m）



【寄贈者】京セラ労働組合様

【寄贈者】京セラ労働組合様

又エバエシハ州カピアオ市サンロケケ村
 受益者：30世帯140人
 井戸の形式：ポンプ式（深さ30m）



井戸ができて村が明るく

貧困家庭が多い地域です。村には古い浅井戸が1基あり、とても汚いのですが、この井戸の水を使うしか選択肢がありませんでした。安全な水が村で得られなかったため、村人、特に子どもたちが身体を清潔にすることも難しく、病気のリスクが高い地域でした。井戸ができたことで、安全な水が得られるようになり、村人たちはとても喜び本当に感謝しています。村がより明るい雰囲気になってきました。村人の気持ちが前向きになり、状況をより良く変える意欲が出てきました。

重労働の水くみから解放

乾燥地域にあり、水を得るのがとても難しい村です。稲作や野菜作りは雨に頼っており、生活に使う水も遠くの池まで水くみに行っていました。その水は汚染され飲用に向かないと分かっていますが、他に水を得る手段がないため使わざるを得ませんでした。村で安全な水が得られるようになり、とても喜んでます。女性や子どもたちが長い道のりを歩いて水くみに行っていました。その必要がなくなり、危険や大変な重労働から解放されました。心より感謝申し上げます。



【寄贈者】(株)大松様

ウバ州バドゥッラ県マダヤヤ村
 受益者：20世帯100人と近隣農民40世帯1200人
 井戸の形式：露天式(深さ8m)

【寄贈者】MIRAI 増田知美様

バグマティ州シンドウパルチョーク郡インドラワティ村
 ダラパニ集落 受益者：6世帯34人
 井戸の形式：水道パイプライン式



水の心配ない夢のような現実

水を得ることが年々大変になっていきました。これからは集落内で水をくめるようになるという夢のような現実が、私たちの日常にやってきました。全体の水が不足がちな時期は水場を使わせてもらえず、水をくめないことが頻繁にありました。しかし十分な収入が無いために独自の水場を設置することが困難でした。今後は乾季でも、水がくめるかどうか心配しなくても済むようになり、安心して井戸の水を飲むことができます。心よりお礼と感謝を申し上げます。

【寄贈者】(株)Cloud Link様



乾季でも水が得られる

乾燥地域にあるため、特に乾季は水を得るのがとても難しい村です。これまで村には井戸がなく、池での水くみに日々長時間かけて水を得ていました。飲用としては安全でないと分かっていますが、他に水を得る手段がないためです。水くみは村に残った女性や子ども、お年寄りたちが担っていましたが、一日の中で多くの時間を水くみに費やさなければならませんでした。新しい井戸の水によって家族みんなで健康でいられるようになったことを大変喜んでます。

ウバ州バドゥッラ県タルテナ村
 受益者：10世帯60人と近隣村20世帯80人
 井戸の形式：露天式(深さ7m)

下痢に悩まされない水

古い村ですが井戸がなかったため、村人は約1km離れたお寺まで、ため池の水をくみに行かなければなりません。ため池は洗濯や水浴びに使われるほか、動物も使うので、衛生的な水とは言えず、特に体の弱いお年寄りや子どもたちを始めとして、水を原因とする下痢、高血圧や頭痛に悩まされる村人も多くいました。井戸ができてからは、家の近くで安全な水を得ることができ、村人は皆、とても喜んでます。本当にありがとうございます。

【寄贈者】(株)ユニコーン様

タケオ州トリアン郡クババ地区ドウンプー村
 受益者：6世帯23人と周辺村人
 井戸の形式：露天式(深さ27m)



井戸のおかげで衛生的に

町から遠く離れた山岳地域で土地も少なく、とても貧しい村の一つです。この村は乾燥地域に位置し、村の中に大きな水源がないため、農業も雨水に頼っています。水くみも村に残った子どもたち、お年寄りが担っています。毎日1~2km離れた水路まで何往復もして家族に必要な水を運んでいました。井戸の完成を機に、衛生や健康教育、環境保全の講習もおこなわれ、井戸の水によってそれを実践することが可能になりました。心より感謝申し上げます。

ウバ州バドゥッラ県ハバスガムワ村
 受益者：9世帯54人と近隣村20世帯70人
 井戸の形式：露天式(深さ10m)



【寄贈者】(株)Cloud Link様

【寄贈者】(株)ユニコーン様

北中部州ポロンナルワ県リファイプーラ村
 受益者：20世帯75人と近隣村25世帯1200人
 井戸の形式：露天式(深さ9m)



家族みんな健康に

村には安全な水が得られる井戸がなかったため、ため池などの水源まで水くみに行っていました。ため池の水は汚染されており、水が原因の腹痛や皮膚病を患う人が多くいました。新しい井戸により、村で安全な水が得られるようになりました。また子どもたちが中心になって、井戸の周りに水を保持し浄化する力のある木々の植林も始めました。安全な水を飲むことができ、お年寄りや子どもたちが病気にかかることがなくなり、家族みんなで健康でいられることを大変喜んでます。

2023年の活動報告 みなさまのお力で達成できました

より良いアジアの暮らしのために 2024年目指す活動

2023年度は、新型コロナウイルスの影響が残るものの世界的に日常生活はほぼ平常に戻り、国内で支援協力を求める普及啓発活動も対面を主として実施できました。またアジア各国への支援事業を計画に沿って進めながら、

国際情勢の変化に対応すべくJAFSの役割や支援のあり方の再考・検討を始めました。2024年度も様々な支援要請が来ていますが、貧困なき社会の創造に向け、アジアの人々と連携し、国内の皆様の参加を得て取り組みます。

水事業

井戸・パイプライン計47基

2023年度はアジア6カ国（インド、カンボジア、スリランカ、ネパール、バングラデシュ、フィリピン）の農村42カ所に、飲料水の井戸およびパイプライン計47基を完成することができました。遠方への水くみを強いられ、コロナなど感染症予防のための衛生環境改善にもつながりました。

これによりアジア各地に贈った井戸は、累計2301基となりました。



◀バングラデシュの小学校にできた井戸に喜ぶ子どもたち

農村所得向上、障がい者支援

貧困対策事業

2023年度の小規模産業育成・職業訓練事業は次のようでした。

インド・マハラシュトラ州アムラワティ県の女性グループを対象に縫製訓練を開始し、ミシンを使えるようになりました。



女性世帯主支援のためのドライフルーツ作り研修（スリランカ）

カンボジア・タケオ州の農村世帯の所得向上を目指した小規模零細事業支援は、経済状況悪化により見直しました。

スリランカ・バンドゥッラ県の女性40名に酪農・農業・縫製を訓練し、子どもの栄養と教育を改善しました。

ネパールではシンドウパルチョーク郡インドラワティ村の継続的な農業振興に向け、村の若者1名に農業専門高等学校への奨学金を支援しました。また収入向上のための養豚講習や、家畜を活用する混植農業モデル事業を行いました。

フィリピン・ソルソゴン州では農漁村の所得向上を目指し、漁場づくりのために植林したマンダローブ林の整備や育苗を進めました。また農村地域の生活困窮者の収入向上のために、有機肥料で土壌を改良し、収穫量が増えました。

フィリピン・アンティケ州パンダンの障がい者が生活物資割引制度を受けられる手続きを支援しました。また障がい児童の卒業後の自立を目指し、再生プラスチック煉瓦の製造とパソコン訓練を支援しました。

保健衛生と医療を支援

インド・マハラシュトラ州ムスカカ

の病院に対し、ニーズ拡大に伴い病棟1棟の建設に着工しました。次年度に完成し、現地行政に譲渡する予定。

ネパール・シンドウパルチョーク郡インドラワティ村の女性に、健康維持のために生理用布ナプキンの活用を勧め、地元で布ナプキンを製作し普及を目指すため、ミシン3台を導入して女性15名に講習しました。

設置しました。住民と学生計53名にごみ処理セミナーを実施し、環境保全活動を行いました（りそなアジア・オセアニア財団助成事業）。また2カ村4校にて、環境美化活動、植林、河川清掃を行いました。

州マトノック町では、3316人に対して環境プログラムを行い、721人が参加したクリーンアップ活動で18トンのごみを回収。学校や幼稚園で環境活動の習慣化を促進しました（TOTO水環境基金助成）。

スリランカでは、村や学校を拠点にして環境保全活動を進め、各村でリーダーを育成して活動の輪を広げました。

植林・清掃・バイオガスで地球を守る

環境事業

アジア5カ国において、地域の森林減少の歯止めや水源涵養、農業環境整備などのために9166本の植林をしました。農村の持続可能な生計につながりました。

ネパール・シンドウパルチョーク郡インドラワティ村で、緑化および地域産業づくりのためにコーヒーを栽培。日陰樹70本、果樹150本、コーヒー苗4300本の植樹、コーヒー苗1万床の育苗、および日本人専門家による研修をしました（「緑の募金」公募事業）。

バングラデシュのポリシャル県・ガジプール県・ネトロナ県の学校計13校で、学校周辺の緑化と環境教育のため、マンゴー1950本を植林し

ました（連合・愛のカンパ中央助成事業）。

フィリピン・アンティケ州パンダンの町で、水源地の森林保全のための苗木づくりと1500本の植林をしました。

スリランカでは、バドゥッラ県の3地区にて果樹など100本を植林し、青少年が育成に携わりました。

グリーンスカウト運動

1986年に発足したグリーンスカウト運動（環境保全市民運動）は、4カ国の現地提携団体が、様々な地球環境保全活動をしました。

ネパール・シンドウパルチョーク郡インドラワティ村では、環境ジュニアリーダーと地域リーダーがごみ分別講習を受け、焼却炉兼ごみ箱を50カ所に



ごみの性質と分別について学ぶ子どもたち（ネパール）

インドネシア・バリ州では、デンパサール市の大学生およびタバナン県の小中学生が、マンダローブ植林やクリーン活動を推進しました。

再生可能エネルギー推進

ギー推進

ネパールでは森林破壊の歯止めと薪の代替燃料のため、牛糞発酵バイオガスを普及しました。シンドウパルチョーク郡の10世帯に各1基のバイオガスプラントを設置し、薪の年間使用量を26ト削減、二酸化炭素排出を年間50ト抑えました（りそなアジア・オセアニア財団助成）。累計1243基となりました。

5カ国の里子282人に教育支援

子ども事業

アジア里親の会（教育里親制度）により、アジア5カ国（インド、カンボジア、ネパール、バングラデシュ、フィリピン）の生徒282名に対して教育資金を支援しました。現地の教育行政制度が整いつつありますが、コロナの影響で困窮度を深めた貧困層の子ど



支援しているストリートチルドレンとの交流（フィリピン・マニラ）

もたちが教育を受けるための支援や、教育環境の維持・運営の支援をしました。

学校の運営・設備支援

ネパール・ナワルプル郡の校舎1棟の建設に着工し、次年度完成の予定。ラオス・ブンヌア郡の公立中学校に寮1棟が完成しました。

バングラデシュの5校の老朽化トイレ再建支援は、現地の都合で実施できませんでした。

HIV/AIDS支援

インド・タミルナードゥ州ディンディガル県とナマカル県で、HIV/AIDSに感染した子どもと家族2世帯の生活と教育を支援しました。

スラムの子どもたち

インド・マハラシュトラ州ナグプールのスラムの子どもたち75名に、学習補講を行いました。

フィリピン・マニラ市内のストリートやスラム、また郊外移住地に暮らす子どもたち97名への教育支援とともに、生活習慣・衛生環境改善などの啓発プログラムを実施しました。

ネパールで栄養改善

ネパール・ナワルプル郡ビトゥリ村の低所得地域の小学生165名に、卵と牛乳の給食を支援し、子どもたちの栄養状況を改善しました。

同村およびシンドウバルチョーク郡インドラワティ村にて、キッチンカーを活用した栄養指導プログラムを現地トリブヴァン大学と共同で開始しました（味の素ファンデーション助成）。インドラワティ村では5歳以下の子どもの栄養改善のため、母親栄養教室を4回実施しました。

日本での栄養士育成のネパール人対象者2名は日本語学習を終えて栄養専

震災被災地支援と防災力強化

罹災者支援事業

ネパール・シンドウバルチョーク郡インドラワティ村において、2015年発生地震被災地に設置した揚水システムの運営を支援しました。

同村における防災力強化事業（日本NGO連携無償資金協力）1年次事業として、防災組合の構築、防災コミュニケーションセンター建設、防災マップの作成や講習会6回を行いました。

ネパール西部で11月に発生したジャカルコット地震被災者に対し、衣類やテント・寝袋、衛生用品を支援しま

門学校進学が決定しました。もう1名は日本の大学院博士課程1年目を終えました。

ワークキャンプとプロジェクト視察

関係団体や学校の依頼によるワークキャンプを再開し、カンボジアとネパールで計3回実施しました。プロジェクト視察はネパール8回、インド2回、バングラデシュ1回、フィリピン2回、カンボジア1回の5カ国14回実施しました。

した。

ウクライナ・スームイ州トロスタネツカ市立病院の外科エリア修復とリハビリ機器の導入、日本の医療関係者とのオンライン相談、市民への防寒着を支援しました。

2月発生トルコ・シリア地震のトルコ内被災者に資金援助をしました。東日本大震災被災地の宮城県南三陸町にある味噌工房に対し、運営支援を継続しました。

また災害発生に向けた備えのため、緊急支援が必要な際に迅速な初動対応ができる資金「緊急支援対応基金」について協力を募りました。

国内での普及啓発事業

アジア理解促進とチャリティ活動

を深めることができました。

地区活動やプロジェクト支援グループでも、それぞれの支援趣旨のもと、チャリティイベントやコンサートを実施しました。

国際理解教育講座として、高校、大学、専門学校や団体のべ10カ所の計412名に対して講義しました。

JAFSぞうすいの会や地区活動の場にて、アジアでの支援プロジェクト



アジアン・チャリティフェスティバルでのフィリピンダンス

国際交流事業

AFSネットワークのあり方や運営についての国際会議を10月にタイで開催し、11カ国46名が参加して今後6年の活動を具体的に話し合いました。

第8回アジア・ユースサミットは「地域を良くするプロジェクトを創ろうー平和な地域づくりに向

けて」をテーマに、国内外7カ国の高校生やユースリーダー計55名が参加してオンラインで討論し、その後それぞれの地域で活動を行いました。

アジア草の根の自立・連帯基金である「アジア・フレンドシップ夢基金」は世話人会が募金に協力しました。

スタディツアー再開

JAFS企画ツアーをコロナ後再開し、インドネシアのパリ州（9月）、フィリピンのパナダン水道バイブライン25周年記念ツアー（9月）、カンボジアのタケオ州（11月）、マレーシアのクアラランプールとペナン州（2月）へスタディツアーを実施しました。

職員研修と奨学金支援

AFSネットワークを将来担うアジア各国提携団体の職員研修のための奨学金支援は、フィリピンのアジア社会科学学院の地域開発コース（オンライン）の研修対象者が無く実施しませんでした。インド提携団体HDSIの後継者1名に対しては、バラティヴィディアピート大学院社会開発修士課程2年目の奨学金支援をしました。

海外ボランティア研修制度は応募者がなく実施しませんでした。

アジアとの対面交流が再開



AFSネットワーク会議で今後の活動を話し合う

を報告し、支援活動への理解やアジア社会の現状理解を促進しました。

アジア文化理解講座として、在日アジア人はじめ外国人の方々から、それぞれの歴史・文化・生活・政治・経済など多岐のお話をいただき相互理解を深める「アジアの仲間」を3回開催しました。

大学生の個人応募による**インターンシップ生**3名を受け入れ、活動を通じて、国際協力活動と市民運動について学びました。

法人賛助会セミナーとして、日本銀行理事・大阪支店長の中島健至氏による講話と交流会を開催しました。

社員クラブは社員総会後の懇親会と併せて開催し、社員会員の親交を深めました。

アジア市民大学は、政治・経済・自然・社会・文化など多角的にアジアを探求する場として8回開催。161名が受講し、アジアの国の文化理解に向け、専門家による講義と相互交流を行いました。

第4回となる**日本語スピーチコンテスト**を開催し、14名の留學生が出場して4名を表彰。51名が聴講しました。SDGsの観点から「サステナブルウォーターアワード」を設け、3年間継続的に井戸支援に協力くださった11の個人・団体に感謝状を贈呈しました。

大阪市西区の小学校で、外国にル

各地区活動として以下のようなイベントが開催されました。

- ◆アジアンホームパーティ／高槻地区 ◆緑とふれあう会（農作業）
- ◆第2エリア ◆チャリティサロン／枚方地区 ◆ねやがわ多文化フェスタ出展／寝屋川地区 ◆大阪おもしろウォーク・歴史散歩／なにわ西◆ノアアフエスタ／なにわ南◆「セカイイチャイシイ水」上映会
- ／河内長野・大阪狭山地区 ◆カラフルキッズ／南河内・松原地区 ◆金剛山雪中登山・寺内町雛めぐり／富田林地区 ◆学習会・チャリティコンサート／第5エリア ◆西宮国際交流デー出展／西宮地区 ◆フレンドシップデー出展／三田地区 ◆つなG Oーアジア／奈良地区 ◆ドリアンチャリティバザール・カラオケクラブ／生駒地区 ◆佐藤手芸教室バザー／第8エリア ◆アイビー歌声サロン／岡山県地区 ◆国際フェスティバル参加／広島県地区 ◆おさんぽウォーク・海ごみ拾い・チャリティコンサート／JAFS 関東、など。

プロジェクト支援グループ

海外プロジェクト支援を目的とする16グループが、様々なイベントやチャリティ活動による海外支援事業の応援を、精力的に展開しました。活動したグループは以下の通りです。

ツがあり日本語指導が必要な児童6名を対象に、学校生活や授業に始めることを目指して**日本語サポート活動**を行いました。

大阪マリン2024のチャリティイベントに2回目の採択となり、公募チャリティランナー13名を得て、フィリピン・スリランカ・ネパールの水支援資金に役立てました。併せてJAFSを広報する機会としました。

第3回「**水**」**写真コンテスト**を開催。国内外から56点の応募があり、上位6点の入賞作品を阪急うめだ本店に展示して、水の大切さをふり返ってもらう一助にしました。

活動状況や海外情報を広報

会報「**アジアネット**」を年4回発行し、活動状況報告や海外情報などを広報しました。支援者のほか、全国の国際関連施設にも送付しました。

ホームページや、フェイスブックやインスタグラムなどのSNS、YouTubeでは、不特定多数に向け、会報発行より短期スパンでタイムリーに情報を発信しました。特にイベント予告やニュース、寄付募集など、発信に迅速性を要する記事を随時掲載しました。

関係団体との連携協力

各種関係団体と連携し、関西のNGO活動を推進し市民活動の社会意義を

- ◆JAFS本部で毎月開催し贈水雑炊により支援する「ぞうすいの会」 ◆里親の会を手作り和紙クラフトで支援する「アジア井戸ばたサロン」 ◆スリランカの提携団体を支援する「スリランカ・サルボダヤ友の会」 ◆日印友好学園コスモニケタンの運営を支援する「日印友好学園支援会」 ◆ネパールの活動を支援する「ネパールへのかけ橋」 ◆料理を活かした活動で水支援をする「PAON」 ◆シルクロードを中心に文化を学び理解し合う「オアシス会」 ◆アジアの若手に人材育英資金を支給する「アジアネットワーク奨学会」 ◆ネパールの農村の医療・保健向上を支援する「ネパール地域医療支援会」 ◆飲料水支援をしたフィリピン・パンダン町と交流を継続する「パンダン交流会」 ◆インド情報を「ZiFi配信」で共有する「バーラト会」 ◆歌ってチャリティ支援をする「歌声サロン」 ◆インドのHIV家族を支援する「いのちの会枚方」 ◆ウォーキングによりアジアフレンドシップ基金を支援する「道楽の集い（歩く会）」 ◆フィリピンのマリーアンさんの大学進学を支援する「ハルハロ有志会」 ◆AFSネットワークの持続可能な維持を支援する「国際ネットワーク支援会」。

広げる活動に協力しています。関西NGO協議会の副代表、国際協力NGOセンターの理事、関西国際交流団体協議会の監事を務めるほか、関西最大の国際協力のお祭り「ワン・ワールド・フェスティバル」の実行委員として協力しました。

関連市民活動として、関西ナショナル・トラスト協会が設立趣旨に沿って活動しました。

「土水」や環境保全活動

第40回「**土と水と緑の学校**」を8月に和歌山県新宮市で4年ぶりに開催し、小中学生の参加者41名が、集団生活をしながら自然の大切さを体験しました。

本会が提唱した**国際グリーンスカウト活動**として国内各地域でも活動しています。吹田部会は、毎月1回の例会と川清掃活動を実施し60キのごみを収集しました。また日本とアジア諸国が共にごみ問題に取り組む**AFSブルーオーシャンレンジャー**活動では、4月に大阪の川沿いで、11月に日本・フィリピン・インドネシア3カ国10地域で同時開催に海辺のクリーン活動を行い、オンライン交流もしました。

各地の会員活動

地区活動では、関西地区を主に、全国11のエリアごとに地区世話人を中心として、本会の活動と理念の普及やア

より良いアジアを目指して 2024年度活動

アジア社会は急速に経済発展し、都市部を中心に水道インフラ整備が進んでいます。その中で依然安全な水が手に入らない貧困地域を支援し、**水・子ども・貧困対策・環境**各分野の事業を通じて、地域の人々が自らの力で貧困なき持続可能な地域づくりを行うことを目指します。

水支援は、貧困改善の入り口です。安全な水によって生きる基盤が保障されます。

子どもに関しては、高等学校卒業までを基礎教育として支援します。貧困層の子どもたちが未来を描き人生設計できることを目指し、アジア里親の会により5か国の子どもたちを支援します。また栄養改善により、子どもの健全な身体育成を推進します。

貧困対策については、地域で生計を立て将来にわたり暮らすために必要な技術や能力を人々が得ることにより、地域が活性化するように支援します。

環境に関しては、アジア各国で課題となっているゴミ問題の解決、植林による環境保全と産業づくり、再生可能エネルギー活用、環境教育により、地域および地球規模の環境保全活動を推進します。

以上の活動を通じ、貧困なき地域づくりに向けて、アジア各地域が次のよ

アジアとの「理解と協力と連帯」の輪を広げることを目指して様々な活動が行われました。

また各地区会組織を整え活動を活性化するために、4・10・3月に地区会長会を開催しました。会員拡大・地域広報活動委員会を計9回開催し、今後の会員増加を目指して様々な方策を議論しました。



高槻地区「アジアンホームパーティ」

うに自立へのステップを歩んでいけるよう促し支援していきます。

●**インド**
カルナータカ州、マハラシュトラ州、タミルナドゥ州の少数民族やスラム街で暮らす人々、HIV感染者の人々が安全な水を得ることができ、教育と仕事を得られるよう活動することで、自立を目指す。

●**カンボジア**
これまで井戸建設支援をしてきたタケオ州などで取り残されている地域に水支援を行うとともに、地域活性化を目指して、地域環境保全活動を推進準備する。

●**スリランカ**
モナラーガラ県とクルネーガラ県の、乾季に安全な水を得ることが困難な地域で、水供給支援および衛生活動を行う。また女性や子どもが抱える課題を解決するため、現地の青少年による地域活動を活性化する。

●**ネパール**
シンドパルチョーク郡インドラワテイ村が出稼ぎに出なくてもよい地域となるよう、農業による地域活性化を目指すため、水環境を整え、環境活動やコーヒー栽培を支援する。また同村およびナワルプル郡カワソティ市で、栄養問題改善のための活動と人材育成

2024年度 社員総会報告

公益社団法人アジア協会アジア友の会第13回社員総会を下記の通り開催しました。社員総数185名（2024年5月31日現在）のうち、出席社員数115名（会場出席者47名・議決権行使書提出者68名の合計）であり、定款の規定による定足数93名を充足し総会が成立しました。

議長については湯川 剛理事長が議事を進行しました。
日時: 2024年6月8日(土) 14時～15時15分
会場: ドーンセンター（大阪市中央区）

【決議事項】

第1号議案「役員を選任」の件について、過半数の賛同を得て、理事27名および監事1名が選任されました。（選任された役員と役職は次号でご紹介いたします。）

第2号議案「2023年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）、同附属明細書及び財産目録の承認」の件は、まず2023年度の事業報告を吉田事務局長が行い、

続いて財務担当上野理事より、2023年度計算書類、同附属明細書および財産目録について報告がありました。質問・意見は無く、過半数の賛同を得て可決されました。

【報告事項】

①2024年度事業計画について

②2024年度収支予算書について

2024年度事業計画および予算について、吉田事務局長および上野財務担当理事より報告がありました。各報告事項について特に質問・意見はありませんでした。

総会終了後、社員以外の会員約30名の参加も得て海外プロジェクト報告会を開催し、スリランカの女性自立、ネパール防災、ウクライナ支援、海洋プラ関連について活動報告がありました。続く懇親会はコロナ禍を経た久しぶりの開催で親睦を深めると共に、村上公彦創設者の理事退任に当たり挨拶があり、一同感謝を表しました。

収支決算書（2023年4月1日～2024年3月31日）

[1] 収入の部 (単位円)				[2] 支出の部 (単位円)			
科目	予算額	決算額	差異	科目	予算額	決算額	差異
1. 会費収入	25,020,000	16,158,140	8,861,860	1. 事業費	74,358,000	73,690,097	667,903
(1) 社員会費収入	5,760,000	4,342,000	1,418,000	(1) 水(井戸・飲料水供給)	21,260,000	23,373,717	△ 2,113,717
(2) 維持会費収入	8,760,000	6,001,400	2,758,600	(2) 子ども(里親・教育・学校建設)	20,710,000	20,517,682	192,318
(3) 賛助会費収入	4,800,000	3,053,400	1,746,600	(3) 貧困(生活自立・職業訓練)	8,990,000	7,136,789	1,853,211
(4) 学生会費収入	0	0	0	(4) 環境(GS活動・植林・バイオガス)	8,400,000	6,523,587	1,876,413
(5) 団体会費収入	600,000	260,000	340,000	(5) ネットワーク推進事業	2,570,000	6,043,437	△ 3,473,437
(6) 法人賛助会費収入	5,000,000	2,499,340	2,500,660	(6) 人材交流・育成事業	4,110,000	711,734	3,398,266
(7) ジュニア会費収入	100,000	2,000	98,000	(7) 地域広報活動事業	6,958,000	6,679,452	278,548
2. 寄付金・募金・補助金収入	168,970,000	173,893,256	△ 4,923,256	(8) 環境保全・啓発教育事業(土水)	1,360,000	2,703,699	△ 1,343,699
3. 為替差益	0	2,075,405	△ 2,075,405	2. 災害特別助成金支出	84,830,000	90,892,880	△ 6,062,880
4. 受取利息	2,000	441	1,559	(1) 災害等罹災者支援事業	500,000	1,284,101	△ 784,101
5. 雑収入	8,000	13,312	△ 5,312	(2) ネパール地震復興支援事業	1,000,000	1,782,007	△ 782,007
当期収入合計A	194,000,000	192,140,554	1,859,446	(3) ネパール防災強化事業	42,440,000	39,557,306	2,882,694
前期繰越収支差額	7,690,165	7,690,165	0	(4) ウクライナN連保険化事業	38,890,000	47,032,444	△ 8,142,444
収入合計C	201,690,165	199,830,719	1,859,446	(5) トルコ地震被災者支援事業	2,000,000	1,237,022	762,978
				3. 管理費	34,812,000	19,239,036	15,572,964
				4. 退職給付引当資産取得支出	0	343,250	△ 343,250
				5. 敷金取得支出	0	0	0
				6. 基本財産振替支出	0	0	0
				7. 予備調整費	0	0	0
				当期支出合計B	194,000,000	184,165,263	9,834,737
				当期収支差額A-B	0	7,975,291	△ 7,975,291
				次期繰越収支差額C-B	7,690,165	15,665,456	△ 7,975,291

を進める。
● **バンングラデシュ**
ボリシャル県、ネトローコーナ県の貧困農村地域では、コロナ後、女子の低年齢結婚が増加している。そのため十分な教育を受けられず、低年齢出産によるリスクを負わされている。中には離婚し、その後困難な生活を強いられる場合がある。そのため女子の高校就学支援を強化し自立を促す。同時に子どもたちの生活地域の自然環境を整える活動に取り組む。
● **フィリピン**
都市部のスラムや強制移住地で暮らす人々の安定した暮らしのために、子どもの教育を支援する。またソルソゴン州でゴミ問題解決を始めた環境活動や、安定した就業を推進する。
● **ネットワーク活動と国際交流**
JAFSの特徴であるアジア18カ国とのAFSネットワークのさらなる強化と、各地域での活動の新たな展開を目指し、国内外で若手の人材育成を行うことにより次世代ネットワークを構築していきます。アジアでも大きな課題である環境悪化にもネットワーク全体で取り組みます。
ネットワーク全体のコミュニケーションと学びの場であるアジア国際ネットワークセミナーは、コロナ後はじめスリランカで開催します。
また日本からアジア各国を訪れるス

タドイツアーなど現地での学びの場を増やし、相互理解を推進し、国際社会で活躍する人材を育成します。
● **災害被災者を忘れない**
災害被災者への緊急・復興支援や、紛争被災者に対する人道的活動を行います。
ネパールのシンドパルチョーク郡では、防災強化事業2年目の活動により、地域づくりと貧困削減を目指すとともに、北西部のジャジャルコット地震被災地の避難生活を支えます。
ウクライナでは、昨年度の病院再建事業の次段階として、理学療法士教育を支援し、爆撃被災者にリハビリ訓練が行える医療人材を育成します。また国内のウクライナ避難民の人々の暮らしを支えます。
能登半島地震被災地には、現地からの情報に基づき必要な支援と、復興の一助となる活動を行います。
● **国内に広げる助け合いの輪**
JAFSを理解し、アジアの社会的課題解決を共に願う活動する仲間が増えるよう、また国内でのボランティア活動のさらなる推進のため、地域イベントや国際理解プログラムなどの実施により社会に働きかけます。広報の充実も図ります。地球環境や社会的課題について考え行動できる次世代人材の育成にも努めます。

「みんなで井戸募金～少額寄付で井戸贈る」始めました！

アジアの国々に、これまでJAFSは皆さんとともに、2,301基の井戸を贈ってきました。多くの方から高額な井戸建設費をご支援いただいたことに、アジアの人々と共に感謝しております。

この度「みんなで井戸募金～少額寄付の協力で井戸を贈る」プランを新たにスタートしました。

アジア各国も物価上昇のため井戸建設費が値上がりする中、1基分の高額な建設費全額をお一人で支援いただくよりも、少しずつのご寄付でも多くの方からお心が集まれば、アジアの人々に井戸を贈ることができます。

- ◆1,000円以上の任意額のご寄付で井戸を贈る活動に協力いただけます
- ◆20万円以上のご寄付で、井戸の名前プレートに記名いたします
- ◆井戸1基の建設費分が集まった時点で、アジア現地に井戸を贈ります
- ◆井戸の贈り先は、必要度の高い国・地域をJAFSが選り充ちます

たくさんの方々のお気持ちを乗せて、アジアへ井戸を届けましょう。井戸を待っている人々がいます。ご支援ご協力よろしくお願いたします。

■お振込み先■

- ・郵便振替 00960-6-10835 アジア協会アジア友の会
 - ・三菱UFJ銀行大阪中央支店 普通1968711
- 公益社団法人アジア協会アジア友の会



▲クレジット寄付決済

また急速に増加する在留外国人（主にアジア人）への支援や交流を通して、アジアからの留学生のネットワークを拡げ、多文化共生社会を目指した相互理解へつなげていきます。
具体的には、アジアン・チャリティフェスティバルや、学校での国際理解教育活動などを実施していきます。また環境保全のために行動できる人を育てる「土と水と緑の学校」の開催、グリーンスカウト活動やブルーオーシャン活動などの環境保全を展開します。
国内外で情勢の変化が早く大きい昨今、目指す社会の実現に向けて、活動内容の選択と集中を進め一つ一つ丁寧な、そして様々な人や団体とも連携・協働し、より多くの皆さんに参加いただける雰囲気醸成に努めます。



国内外のさまざまなイベントをHPに載せています。記事についてのお問い合わせは JAFSへ。裏表紙にアドレス、連絡先



楽しく支援資金づくり

アジアに井戸を贈る、教育支援をする。そんなJAFSの活動には資金が必要で、各種のイベント出店は資金集めのための大きな機会です。
5月5日には兵庫県宝塚市の中山寺で「子ども祭り」が開催されるのですが、お寺のご厚意で毎年出店させていただいています。今年はインドのコスモニケタン学園とフイリピン・マニラのストリートトルドレンの教育支援が出店目的でした。

活動紹介パネルの展示や子どものがめ運び体験などはJAFSならではのものです。途上国での水くみは子どもの役目であることを説明して、何メートル運べるかを体験してもらいました。ヨーヨー釣りや、大きなちくわの天ぶらがのつたうどん、綿菓子などには買い求める子どもたちの列ができました。

運営を担った25人のほとんどはボランティア。今年はオーストラリアとベトナムからの留学生や、高校生も加わり、忙しいながらも楽しい1日になりました。

(JAFS会員 大本和子)

仲間増えるよう話合いとBBQ



3月1日、奈良県生駒市山麓公園にて地区会長・世話人会&パーベキュー(BBQ)パーティをしました。幸い天候に恵まれたものの、まだ3月で肌寒さが残っていました。

参加者21名。第1〜第9エリアまで参加。どうしたら会員が増え、より活発な活動ができるか、過去の実績を踏まえ、今後の取り組みについて議論しました。

JAFS会員は最盛期の2012年頃には4千人ぐらいました。ボラン

大阪・平野の歴史・文化を学ぶウォーク

ティア活動がマスコミに取り上げられ話題になったこともあります。海外ワークキャンプ、海外支援報告会など様々な活動やイベントが数多くありました。再び会員数が増えるには、この当時の活動が参考になりそうです。

またもう一つの議題「途上国の暮ら

しを考える」について、以前と様変わりした最近の途上国現地事情に関して渡辺治彦理事から報告があり、勉強になりました。パーベキューパーティは寒いながらも大いに盛り上がりました。

(生駒地区会長 野池徹)

桜花爛漫と晴天に恵まれ、4月6日に大阪市内で「なにわウォーク平野区編」を開催。案内人に沖本然生さんに

お招きし、28名が参加しました。平野環濠跡をスタートし、平安時代より今に至る杭全神社へ。歴史や文化

について、沖本さんの分かり易い軽快なトークに感心と笑いがあふれました。道中では街行く方々から「今日は何なの?」「何の会?」などお声がけいただき、JAFSの活動をお伝えできた嬉しい出会いもありました。その後、長寶寺などを巡り、大念仏寺で休息を取り、2時間余りのウォークの終着はチンチン電車平野停留場でした。写真。ランチは同区内のJAFS会員さんのお店「ノアノアカフェ」で。シェフご自慢の料理を、有志の皆様とおいしくいただきました。

(なにわ南地区世話人

出口貴之)

ひな人形が出迎える旧家の街並み

富田林市寺内町の旧家にお邪魔すると、いつもの優しい目のひな人形が迎えてくれました。今年も、大阪府・富田林地区恒例の「寺内町・雛めぐり」を3月6日に開催しました。寒の戻りで少し冷え込みましたが、街の各軒先には桃や菜の花が飾られ、春の装いが溢れていました。コロナ後の本格的な再開として、以前の様に各家でのひな人形の展示と出店があり、賑わいが戻って来ました。

今回は中国とトルクメニスタンからの留学生を含む14人が集い、富田林市

(富田林地区会長 渡辺治彦)

寺内町の古い街並みを散策。めいめいの家に飾られた朱色の人形に、つい足を止められました。お昼は「ひな祭りランチ」を頂き、気分揚々と後半のお寺と旧家を巡り、たくさんのお写真と思い出を持って帰りました。旧家のひな人形は、百年を超える単位で優しい表情を見せてくれることに感じました。色褪せた着物の中にはいろんな出来事が積み込んでいるのだろうな、コロナもその一つになるのかなど、大きな時間の流れが見えた気がしました。



能登へホッとするひと時を届ける

4月13日、能登半島地震被災地へのJAFS2回目の炊き出し支援に参加しました。石川県珠洲市の生涯学習センターで、カレーうどん150食を調理し配りました。

珠洲市ではまだ上水道が復旧していないところがありました。現地までの交通機関もなく、車で向かう途中の道路はガタガタで、何度か車の天井に頭を打つことがありました。ほとんどの

電柱が傾いているため、平衡感覚が狂いそうでした。

そんな中の炊き出しは、現地の人たちが温かい物を口にできる機会になり、「今の食生活の中でホッとする気持ちを与えてくれます」と避難所の方々が嬉しそうに受け取って下さった。わざわざお礼を言いに戻ってきても下さる様子から、日々のご苦勞が伝わってきました。



私は日ごろ、安全管理を重視する仕事をしており、その知識が被災地への道中含め現地での対応に役立つと思います。しかし平日は仕事があり、気持ちがあっても行けません。週末の活動であれば参加できます。今回もそうでしたが、JAFSには様々なことを得意とするメンバーがいて、そのつながりとチームワークで能登の人々の力になれる活動が多くあるように思います。これからできる活動を続けていきたいです。

(JAFS会員
杉原貴)

奈良の古民家にアジアの風



てもらいました。民俗舞踊は誘客にとっても有効で、留学生たちは何度も踊り、観客に日本の印象などを語ってくれました。

土間のかまどで沸かしたお湯で作ったチャイは好評。「楽しかった。今度はいつやるのですか?」といううれしい声も複数お聞きしました。

(奈良地区会長
伊藤誠)

● 投稿規定 ●

本欄では、国内各地のJAFS会員の皆さんの活動ぶりを紹介しています。誰が、いつ、どこで、どのような趣旨で、どんなことをしたか、などをかみくだいて分かりやすく書き、筆者名を添えて、「JAFSプラザに掲載希望」と明記し、メール、郵便、ファクスなどで事務局へお送りください。写真付きを歓迎します。原稿をさらに推敲・編集したうえで掲載させていただきます。

アジアの外国人家事労働者の実態と課題

JAFSの セミナーから

第5期アジア市民大学第5回

講師：安里和晃(京都大学大学院文学研究科准教授)

日本では住み込みの外国人家事労働者はほとんどいないが、香港・台湾・シンガポールではよく雇用されている。

ほとんどは女性で主にインドネシアやフィリピンからリクルートされているが、家庭の中で働くので労働基準法が適用されない。労働者保護が十分でなく、賃金が安く長時間労働を強いられている。休日は職場である家庭にいるわけにいかず、冬場は外の公園のテントなどで同じ国の出身者同士で時間を過ごしている。家事労働者だけでインドネシア伝統のお祭りも行われており、ジェンダー役割が複雑に交錯する興味深い現象も見られる。

香港では30万人以上の外国人女性家事労働者が働いている。彼女らがいないければ香港における家事・育児・介護といったケアは十分ではなく、地元的女性も職場で活躍することは困難な状況である。家事労働者によって家事を補填するという考え方は、シンガポ



ルや台湾でも同様であり、福祉を充実させるよりも、各家庭が家事労働者を雇用するという方法を取っている。

一方、日本はもともとは家族主義的であったが、今は介護保険制度のもとで介護職員からケアを受けるのが一般

的となり、家族の役割が切り離されて高齢者ケアの大部分は国家の役割となった。ケアという福祉の生産を考えると、国家、市場の役割が日本と香港・シンガポール・台湾で異なるのである。

コロナ禍以前はこの3つの社会で100万人の外国人家事労働者がいた。人口がもともと少ない社会では労働力の天井を打破するため、女性の雇用促進を目的として導入された。日本は人口が多く、男性の労働力で経済成長を支えることができた。農村の潜在労働力を吸収することで経済成長に必要な労働力を確保することができたが、3つの社会では女性の労働力化が不可欠だった。福祉を充実させるにも人材不足であり、また大きな政府を持つことも好まれなかったため、国際競争力を維持する観点から一般的な税率を低くし、小さな政府のまま家族福祉を充実する必要があった。

家事労働のニーズは減ることがなく、常に家事労働者数は増えている。受け入れ政府は、外国人労働者数を抑

制しようと考えてきたが、家事労働の需要は増すばかりである。

ところが、家事労働者が社会に根付くことを、特にシンガポールは警戒している。家事労働者の結婚は許されず、半年に1回実施されている妊娠検査で、家事労働者が妊娠となると国外退去の処分となる。シンガポールでは家事労働者を雇用する雇用主に3万円もの雇用税を課しているが、高齢者世帯には減免している。台湾でも妊娠検査が導入されたが、人権重視の政策に転換しており、妊娠検査は廃止された。

概して日本は家族に福祉機能をゆだねるというより国家による社会保険を充実させてきたが、3つの社会では外国人労働者によるケアの市場を拡大させ、その充実を図ってきたといえるだろう。

同じアジア諸国と言っても膨大な女性のケア人材を送り出しているフィリピン、インドネシア、ベトナムと、受け入れ先であるこれらの地域に分かれ、ケアの国際分業が行われているのである。こうした社会のジェンダー平等が別の国々の女性たちの家事労働によって支えられている現状をどのように理解したらいのだろうか。

4月13日に開講
(まとめ)

JAFSスタッフ 柿島裕

JAFSチャリティイベントカレンダー

2024年夏



月	日	地域	行事名	時間	実施場所	参加費	内容
7月	6日(土)	西区	第5期JAFSアジア市民大学 第11回 ウクライナ「ウクライナ支援を続けて見えてきたもの」	14:00～16:30	肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南よりすぐ	一般 2400円 会員 2000円	日本ウクライナ文化協会の小野元裕会長より、2年以上続くウクライナ戦争下で日本に避難を余儀なくされたウクライナ人に対する様々な支援やウクライナへの人道支援などについて最新の状況をお伝えしてご報告いたします。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	7日(日)	西区	第41回土と水と緑の学校保護者説明会(大阪)	13:00～14:30	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	無料	第41回土と水と緑の学校を8月5日(月)～9日(金)(4泊5日)に和歌山県新宮市で開催します。対象は少学3年生～中学3年生までの60名、大阪からの参加費は47,000円(往復のバス代、宿泊・食事・保険代等を含む)。参加希望者と保護者対象に詳しい説明会を開催しますのでご参加ください。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	7日(日)	枚方市	JAFS枚方・寝屋川 ティーサロン	14:00～16:00	サンプラザ生涯学習市民センター 第3会議室 京阪電車枚方駅東改札口すぐ	500円(茶菓代・ネパールへの支援含む)	現在、日本の大学や専門学校で栄養学を学んでいるネパール人留学生3名からネパールの山村での食生活や日本での生活についてお話をいただきます。後半は、ネパールの踊りを披露いただきます。 ●窓口：枚方地区会・天野由紀代 電話：090-4288-7726、寝屋川地区会・笠谷正博 電話：090-8523-6113
	9日(火)	西区	第414回JAFSぞうすいの会	12:00～13:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	最近、アジア現地へ支援のために訪問したボランティアやスタッフが現地事情や支援内容について報告します。美味しいぞうすいを食べながらアジア現地への井戸支援を行います。 ●窓口：事務局 柿島 06-6444-0587
	9日(火)	西区	ワンコインセミナー「ハンドトリートメント」	13:15～13:55	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：土本花す子 手先から肘までをマッサージします。不思議なことに身体も温まります。お互い練習台になって、ペアで練習しますので、お友達での参加もOKです。「爪切り」してご参加ください。持ち物：ハンドクリーム・フェイスタオル ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	9日(火)	西区	ワンコインセミナー「健康麻雀【座学】」	14:00～14:40	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：野池徹 4回完結。老若男女の初心者(初めて牌に触れる人)対象。椅子に座って指が動くだけでOK。ゲーム(スポーツ)のルールをヨチヨチ学び、スリルとサスペンスを楽しみましょう!! 驚くほど人生が豊かになります。 ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	9日(火)	西区	ワンコインセミナー「けん玉教室」	14:45～15:25	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：横山享利 子どもの頃に遊んだけん玉ですが、大人になっても上手にできるように先生が丁寧に教えてくださいます。子どもに戻って頑張りましょう!! ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	9日(火)	西区	ワンコインセミナー「オルゴール&シンキングボール」	15:30～16:10	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：中山竜士 あなたの体で素敵な音楽を奏でられます。オルゴール演奏でストレス解消!! スイスオルゴール演奏曲「カノン」を聴きシンキングボールを頭にかかせる体験でストレス解消。 ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	9日(火)	西区	ワンコインセミナー「バルーンアート講習会」	16:15～16:55	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：谷阪洋子 風船で犬、キリン、キティちゃん、トトロ、くまモンなどのキャラクターや季節のグッズを作ります。とっても可愛い作品ばかりです。一緒に作りましょう!! ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	9日(火)	西区	ワンコインセミナー「韓国語&韓国舞踊」	17:00～17:55	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：南延秀(ナムヨン) 韓国伝統舞踊を踊ろう!! 韓国舞踊家の指導でみんなと踊ってみませんか!! 韓国語を学んでみませんか!! 韓国語講師の指導で韓国語文法や会話を学びます。 ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	10日(水)	生駒市	アイビー歌声サロン in生駒	15:00～16:30	生駒市STAはばたきリハーサル室 近鉄けいはんな線学研北生駒駅から徒歩10分	700円	腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。 ●窓口：有山加代子 090-8377-5151
	15日(祝)	新宮市	第41回土と水と緑の学校保護者説明会(新宮市)	13:00～14:30	新宮市役所別館(旧職業訓練センター) 和歌山県新宮市春日1-35	無料	第41回土と水と緑の学校を8月5日(月)～9日(金)(4泊5日)に和歌山県新宮市で開催します。対象は少学3年生～中学3年生までの60名、新宮からの参加費は32,000円(宿泊・食事・保険代等を含む)。参加希望者と保護者対象に詳しい説明会を開催しますのでご参加ください。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	17日(水)	生駒市	アイビー歌声サロン in生駒	15:00～16:30	生駒市STAはばたきリハーサル室 近鉄けいはんな線学研北生駒駅から徒歩10分	700円	腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。 ●窓口：有山加代子 090-8377-5151
	18日(木)	大町山崎	第27回JAFS道楽の会「ウォーキング 天王山ハイキング」	13:00～16:00	13:00JR山崎駅集合	1000円	ウォーキングに参加することでアジア支援のチャリティ募金を行います。 ●お申込・お問い合わせ：石原 090-1134-3085
	20日(土)～21日(日)	南丹市	第2回美山自然塾「ブルーベリー狩り」	20日(土) 15:00～21日(日) 14:00	美山楽舎(京都府南丹市美山町内久保保瀬頭1番地)	大人6000円・子供3000円 KANTA会員4000円 JAFS会員5000円	摘みだての生のブルーベリーをたべてみよう! 「火おこしをやってみよう!!」 美山もんの食材を使って水車小屋で搗いたお米をみんなでかまどで炊きます。 ※寝袋持参・小学校3年生以下は保護者同伴のこと ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	27日(土)	大阪市	アジアフレンドシップ募金 チャリティ・チェロコンサート	14:00～	UMESHIBA BASE by UR 大阪市北区芝田2丁目5-1	前売2000円 当日2,500円 高校生1000円 障がい者・中学生無料	ドイツ出身でケルナーアカデミー&ウィナーアカデミーの首席チェロ奏者クラウス=ティーター・プラントとアンサンブル希望による共演です。 ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
8月	5日(月)～9日(金)	新宮市	第41回土と水と緑の学校	5日(月) 14:30～9日(金) 13:30	和歌山県新宮市高田地区及び那智勝浦町宇久井	大阪発着 47,000円 新宮現地参加 32,000円	第41回土と水と緑の学校を8月5日(月)～9日(金)(4泊5日)に和歌山県新宮市で開催します。対象は少学3年生～中学3年生までの60名。カヌーやくじらウォッチング等の体験活動と自然を学ぶ学習活動があり、自然の素晴らしさを学ぶと共に仲間と一緒に生活することで思いやりの心を育てます。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	16日(金)	生駒市	アイビー歌声サロン in生駒	12:30～14:00	生駒市たけまるホール 多目的室 近鉄奈良線、大阪メトロ中央線生駒駅よりすぐ。	700円	腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。 ●窓口：有山加代子 090-8377-5151
	24日(土)	西区	第5期JAFSアジア市民大学 第12回 アジア全般「アジアの動向と展望」：JAFSアジア市民大学講座の総括」	14:00～16:30	肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南よりすぐ	一般 2400円 会員 2000円	アジア市民大学賞清隆学長が、この5年間の当大学の活動を振り返り、依然として紛争が絶えない世界の現実や経済的格差の拡大、地球規模の環境破壊などの多くの課題を踏まえ、これからのアジアの行く末について話し合います。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834

	24日(土)	西区	第5期JAFSアジア市民大学 全12回終了お疲れ様会	17:00～19:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南よりすぐ	1000円	アジア市民大学賞清隆学長と共に1年間の学びを振り返り、受講生の皆様と共に懇親・交流のひとときを過ごします。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	28日(水)	生駒市	アイビー歌声サロン in生駒	12:30～14:00	生駒市たけまるホール 多目的室 近鉄奈良線、大阪メトロ中央線生駒駅よりすぐ。	700円	腹式呼吸を目指し、出席者からのリクエスト曲をキーボード生演奏で、皆さんと一緒に歌います。 ●窓口：有山加代子 090-8377-5151
9月	10日(火)	西区	第414回JAFSぞうすいの会	12:00～13:00	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	最近、アジア現地へ支援のために訪問したボランティアやスタッフが現地事情や支援内容について報告します。美味しいぞうすいを食べながらアジア現地への井戸支援を行います。 ●窓口：事務局 柿島 06-6444-0587
	10日(火)	西区	ワンコインセミナー「カバラ数秘術」	13:15～13:55	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：土本花す子 自分が生まれてきたのは、なぜこの親を選んだのか?今世の生きる課題を知ることができます。 ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	10日(火)	西区	とらいあすろんコーチ「歩いて元気になろう会」	14:00～14:40	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：前田隼矢 歩きは運動の基本。正しい歩き方で、身体は心地よく感じ、元気になるようにしていきます。手軽にできる体操を交えて、正しく心地よい歩き方を身体に染み込ませましょう!
	10日(火)	西区	ワンコインセミナー「健康麻雀【座学】」	14:45～15:25	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：野池徹 1部で学んだルール・役・点棒計算を下に1局を一人で打ってもらい、実践。順位付けし、自分の戦略戦術を反省し、また実践。その繰り返しで、自分の見方、考え方、戦い方を確立して確実に強くなります。 ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	10日(火)	西区	ワンコインセミナー「川柳」	15:30～16:10	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	講師：野池徹 老若男女、いつでもどこでも、金もかからずできます。世界一短い詩、五七五、17文字の芸術。人生再発見でき、ワクワク、ドキドキ、時にハラハラの人生送れます。結果返ります。 ●窓口：事務局 鳥居 090-5663-6123
	10日(火)	西区	ワンコインセミナー「バルーンアート講習会」	16:15～16:55	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	内容は7月9日(火)の同イベント欄をご覧ください。
	10日(火)	西区	ワンコインセミナー「韓国語&韓国舞踊」	17:00～17:55	肥後橋官報ビル5階JAFS会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	500円 定員 15名	内容は7月9日(火)の同イベント欄をご覧ください。
	28日(土)	京都市	京都チャリティ 午後のコンサート ～バイオリンと歌～	12:30～14:30	バザールカフェ 京都市上京区烏丸今出川上ル 烏丸今出川交差点から北に歩いて、西側一本目の角を左折、左手	2000円(屋食付)	ヴォーリス建築の素敵なカフェで、バイオリニストで合唱指導もされている大日方章代さんをお迎えし、午後のコンサートを開催します。参加費はアジアの子ども支援に充てさせていただきます。 ●窓口：事務局 岡本 06-6444-0587
10月	5日(土)	西区	JAFS地区会長・世話人会&新入会員ウェルカムパーティ	10:00～13:30	肥後橋官報ビル8階会議室(会長会)5階JAFS会議室(ウエルカムパーティ) 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南へすぐ	2000円(新入会員は1000円)	各地区会の会長・世話人が一堂に会し、各地区の活動状況について報告するとともに、新たな活動について話し合います。また新入会員ウェルカムパーティ(12:00～)を開催。12:30からは交流会も行い、お互いの親睦を深めます。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	6日(日)	天王寺区	第5回日本語スピーチコンテスト ※会場の都合により日程は変更になる場合がございます。予めご了承ください。	14:00～16:30	クオレ大阪中央(大阪市立男女共同参画センター中央館) セミナーホール 大阪市天王寺区上汐5-6-25 大阪メトロ谷町線四天王寺前夕陽ヶ丘駅より徒歩10分	チャリティ参加費 1000円 留学生無料	毎年恒例の日本語スピーチコンテスト。今年は留学生の部と社会人の部の2部構成で開催します。「日本に来て思ったこと、感じたこと」などのテーマで率直にスピーチします。日本を見直す絶好の機会ですので、ぜひ聴講にお越しください。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	12日(土)	西区	第6期JAFSアジア市民大学 第1回内容未定	14:00～16:30	肥後橋官報ビル8階会議室 大阪メトロ四ツ橋線 「肥後橋」駅1-B出口南よりすぐ	一般 2400円 会員 2000円	第6期は10月開講。2025年9月までの1年間、毎月原則第2土曜日に開催します。今期より大学生・高校生は無料ですので奮ってご参加ください。 ●窓口：事務局 柿島 090-1021-6834
	13日(日)	生駒市	チャリティ・ライブ&マルシェ in生駒	11:30～15:30	生駒コミュニティセンターセイセイビル1階 セイセイホール 近鉄奈良線・けいはんな線生駒駅南口よりすぐ	前売2,000円、当日2,500円(500円金券付き)	アジアの多彩な歌・踊りを楽しみながら、美味しい料理をいただき、バザールも楽しんでアジアの人たちと楽しく交流しましょう。 *留学生・障がい者・小学生1,000円(500円金券付き) ●窓口：鳥居 090-5663-6123
	19日(土)～21日(月)	スリランカ	第31回アジア国際ネットワークセミナー	18日(金) 集合～22日(火) 解散	スリランカ・パンドラガマサルボダヤ高等学習センター	12万円(予定) + 飛行機代	AFSネットワーク間の理解と交流を深める3日間の国際会議を、スリランカがホスト国となり開催します。アジア各国にJAFSが持つネットワークのメンバーと連帯感を持ち、現地の生の声を聞ける機会です。3日目にはコロナ観光もありです。セミナー前日に現地集合、修了翌日に現地解散。一般参加者を募集します。 ●詳しくは事務局へ

●緑とふれあう農園の作業日

<場所> JR星田駅より徒歩8分 7/13(土)、7/27(土)、8/19(土)、8/24(土)、9/14(土)、9/28(土) 午前7時～10時

10/12(土)、10/26(土)、11/9(土)、11/23(土) 午前8時～11時

<内容> 季節の野菜を植えて育てます。緑を育てる楽しさを共に分かち合ひましょう! はじめて参加される方は事前連絡ください。

♥「もったいない」のきもちを社会貢献へ♥

JAFSでは以下のものを集めています。ぜひ、ご協力をよろしくお願いいたします。

○書き損じハガキ、切手(未使用・記念切手可)、外貨コイン：事務局の通信や、JAFSの活動に使わせていただきます。

○服、アクセサリ、カバン等：買ったけど敬回しか使っていない。でも捨てられないものありませんか。

お問い合わせ 06-6444-0587 JAFS事務局

断捨離 × 国際協力 もったいないを力に!

寄付いただいた物品は、チャリティーショップ KANAU で販売。その売上がアジア協会の支援活動に役立てられます。

洋服(春・夏服) ※冬物は9月以降にお願いします
靴 本/CD/DVD 服飾品 アクセサリー ショール等
問合せ・受付先 ▼ 火曜定休 10:00～18:00 JR 寺田町駅より徒歩10分

KANAU 〒544-0025 大阪市生野区生野東2-2-15
夢かなうチャリティーショップ ☎ 090-4161-0236(青木)

新入会員ご紹介

ご入会感謝申し上げます。(敬称略・50音順)

2024年3月1日～5月31日

●社員会員

伊東祥多／玉城博和
池田一義／加藤節子／金井遊海／高藤恭代／原田遥／松井寿之

●賛助会員

青木洋／青木康史／前田隼矢
●法人賛助会員
CommaJapan(株)
●里親会員
川岸幸恵

会費納入者、寄付・物品協力者

温かいご支援ありがとうございます。(敬称略・50音順)

2024年3月1日～5月31日

なお夏季・冬季募金へご協力くださった方につきましては、1年後の夏季・冬季に別紙で報告させていただきます。

●社員会費

秋山賀子／浅野弘／足達新／安達英行
／熱田親憲／熱田典子／天野紀／天野由紀代／池田邦子／池田悦子／池本修
／石田雅昭／石原基義／伊東祥多／上田高久／上野孝一／大石みどり／大野嘉宏／大原映子／大本和子／岡本厚
岡本佳子／沖田文明／小澤勇／小野元裕
／小山田宗弘／柿島裕／笠谷正博
神野哲／川合千代子／川上知子／川崎壽
／川端勝／北田嘉信／北野光三／北山典彦／金昌則／草加節男／栗村壽子
／古賀旭／古賀範久／小林久仁子／櫻井紘哉
／佐々木実／佐藤眞子／佐藤道代
／佐藤満昭／佐藤理香／更家充／島井宏子
／下山浩一／平興隆／高垣靖
高田晃宏／田中壽美子／田中政直
／岡康男
／谷和弘満／玉城博和／辻川楠美
／土屋菊男
／出口貴之
／藤岡孝子
／藤岡剛
／富田和政／富松英二
／鳥居建十
／中井淳夫
／中内一揚
／中島和子
／中須賀敏子
／中村日遊
／西田貞之
／野

池徹／野木義弘／野口明英／堅島五兵衛
／橋口高明
／橋本未子
／橋本隆
／東幹男
／平瀬勢文
／福川肅
／藤本加代子
／藤原正昭
／細谷詩子
／法花敏郎
／本間一将
／松本静枝
／松本督
／丸尾裕之
／宮野谷篤
／宮本照佳
／三渡眞由美
／村上和範
／村上公彦
／毛利吉男
／森脇寛
／安田信人
／八束浩一
／柳井一朗
山口克隆
／山崎道治
／山崎桃
／山下泰之
／山田和広
／山田英男
／山田穂積
／横井怜子
／横山浩平
／米田徳子
／荻元裕美
／荻元良嗣
／渡部高明

●維持会費

秋山タカ子／浅尾みちる／浅野照子
／安達淳子
／熱田昭子
／熱田貴子
／天野さやか
／天野日出男
／天野吉幸
／雨森清忠
／粟井健徳
／幾谷眞規子
／池田一義
／石原京子
／泉原眞由美
／市來賜代
／市来千代子
／伊津野修
／伊藤エリサ
／伊藤亮三
／因幡明洋
／井上順子
／今井利子
／今井康郎
／今堀京子
／岩城良子
／植田直弘
／上田律子
／植村龍子

●維持会費

秋山タカ子／浅尾みちる／浅野照子
／安達淳子
／熱田昭子
／熱田貴子
／天野さやか
／天野日出男
／天野吉幸
／雨森清忠
／粟井健徳
／幾谷眞規子
／池田一義
／石原京子
／泉原眞由美
／市來賜代
／市来千代子
／伊津野修
／伊藤エリサ
／伊藤亮三
／因幡明洋
／井上順子
／今井利子
／今井康郎
／今堀京子
／岩城良子
／植田直弘
／上田律子
／植村龍子

●維持会費

秋山タカ子／浅尾みちる／浅野照子
／安達淳子
／熱田昭子
／熱田貴子
／天野さやか
／天野日出男
／天野吉幸
／雨森清忠
／粟井健徳
／幾谷眞規子
／池田一義
／石原京子
／泉原眞由美
／市來賜代
／市来千代子
／伊津野修
／伊藤エリサ
／伊藤亮三
／因幡明洋
／井上順子
／今井利子
／今井康郎
／今堀京子
／岩城良子
／植田直弘
／上田律子
／植村龍子

●井戸建設積立

久敏彦

久敏彦

久敏彦

久敏彦

久敏彦

梅田祥仁／浦野健二／江守猛／大島一晃
／大谷伊津枝
／大塚哲男
／大槻昌寛
／大成孝子
／大橋一雄
／大平英明
・さゆり
こはる
・ほのか
／大脇とし子
／岡野きぬ子
／沖早知子
／置田善三
／荻野晋也
／小椋加代子
／越智翼
／落合朋子
／小野塚操
／片山和子
／片山直也
／加藤節子
／加藤洋
／金井慎子
／金井遊海
／金子澄子
／釜下金郎
／上岡忠人
／加茂清次
／川上徹
／川上知輝
／川上礼子
／川北初美
／菊扇弘子
／菊池哲也
／北口正敏
／北田雅人
／北野拓郎
／吉相幸枝
／木野由弘
／木原みき
／木村泰彦
／木村依江
／清岡恵美子
／熊本千恵子
／小出裕司
／糀矢美智
／甲田一幸
／小倉正和
／小島俊之
／古住満寿子
／小谷のり子
／小西尚子
／小林英子
／小林眞澄
／小松一子
／小森茂之
／雑賀明美
／齊藤透
／斉藤渡
／嵯峨山節子
／佐藤潤子
／佐藤寛範
／佐藤眞子
／佐藤泰範
／佐藤善範
／澤田安子
／塩尻加代子
／實まり子
／芝崎末廣
／蒔谷香織
／下野博
／正法地浩
／須賀浩
／菅原直樹
／杉江久男
／杉原眞
／住友藍
／瀬川眞平
／関口淳
／曾和明
／平善行
／高岸弥生
／高畑政登
／高藤恭代
／高山結衣
／田口哲朗
／竹田陽子
／武生伸子
／立石小夜子
／田中和枝
／田中和子
／谷口昌嘉
／谷丸八郎
／種村政宏
／玉置和子
／田村章子
／辻賢二
／辻知久
／辻正浩
／津田洋子
／坪内廣次
／坪田由紀子
／土居正明
／遠田智代
／徳永正和
／富松孝司
／豊田財光枝
／豊田祐輔
／寅田和代
／鳥居洋一
／内藤恵子
／長江佐和
／中江優子
／中岡末子
／中嶋政義
／中島就子
／中島裕子
／中島綾
／中陳和悦
／中須賀敏子
／中筋光子
／中谷華菜
／中西彰夫
／中西伸子
／長野清文
／中野為夫
／桂子
／中橋政美
／中南有加里
／中村真司
／中村暢秀
／西優子
／西川龍夫
／西田恭子
／西野恵子
／西林昌樹
／西本悦子
／西山あかり
／野口博司
／乗田昌司
／橋田政子
／橋本喜代子
／橋本喜代美
／橋本元氣
／橋本恵
／長谷川雅子
／秦道代
／林

佐妃子
／林千夏
／原田和幸
／原田遥
／日生下卓
／日笠修宏
／日方優子
／久光定雄
／日野恵美子
／日野眞澄
／姫野佐智子
／平見美智子
／廣敦子
／福井えり
／福島朋子
／福本義克
／房本晃
／藤井順子
／藤井りか
／藤田百合子
／藤原龍雄
／船戸尚子
／古川光照
／古田万紀子
／古山陽一
／堀正巳
／堀口賢司
／本多操
／前澤良子
／真下浩一
／榎田実
／松井寿之
／松村祐介
／松本典子
／マツララジャンマン
の場義恵
／三木裕則
／三國谷勝寛
／溝尾敬子
／溝渕むつ躬
／光畑麻美
／宮田幹
／宮野慧子
／虫明桂子
／武藤由美子
／宗石和久
／村本康治
／毛利仁智厚
／森利明
／森長敬
／森村文則
／森山尚子
／八尾眞弓
／八木正人
／Yakop Switkano
／安留治
／八頭司和子
／柳原富美子
／山内幸太
／山岡輝清
／山口香世子
／山口幸子
／山口文枝
／山崎晶子
／山下登世子
／山部檀
／山本勝彦
／山本哲司
／山本幸子
／湯浅禎也
／横井明子
／横井加奈代
／吉岡照仁
／吉田伊吹
／鋸坂絵子
／霊松寺岡村良孝
／和田早苗
／和田多喜子
／和田達生

彦
／斉藤理美
／佐々晴男
／真田朱美
／島田和幸
／清水直子
／シユレスタナニマヤ
／庄司野宇三郎
／新谷百代
／新羅和子
／末廣志帆
／鈴木直行
／関一也
／相馬隆人
／平眞知子
／高橋文子
／高宮寿子
／高山純一
／田口吉三
／竹井智子
／竹中晋
／武森友美
／田中恭子
／谷総安雄
／谷口和子
／谷口惺
／辻貴文
／辻知久
／辻益廣
／津田宏久
／都筑信美
／壺井利一
／外村茂一
／富田修
／外山和美
／内藤健一
／内藤肇
／内藤雅貴
／中島慎介
／中島千恵
／永谷恵子
／中谷太一
／中西邦夫
／中野鉄馬
／長浜眞美
／中村操
／中村弓絵
／成山邦子
／西浦暢子
／西野修平
／野上麻理
／野島哲也
／野村浩之
／箱崎健明
／橋本靖夫
／島山常夫
／島中美代子
／花光智香子
／羽田孝彦
／浜田春樹
／濱田光江
／早崎鉄也
／林温子
／林八重子
／原明博
／東谷香保子
／飛田雄一
／平川哲也
／平野千晴
／藤本千恵
／藤原昭子
／藤原勝徳
／舩松志津子
／堀田紀美子
／堀富子
／堀口節子
／本多隆久
／本間耕一
／前田隼矢
／前田幸利
／牧比呂美
／真嶋克成
／松浦有理子
／松尾慶治
／松田高志
／松長朋子
／松山教会
／水野恵理子
／水本裕子
／御手洗圭
／三津谷千恵子
／箕浦明子
／宮嶋淳
／村口ミヨ子
／森岡幸子
／八木原由希子
／柳田芳孝
／山下玉英
／山下良一
／山田伸枝
／山野和子
／山本晴子
／湯浅洋子
／行廣真紀
／吉田聡子
／吉用トモ子
／義本奈々
／愿山紀代
／若林美幸
／若山治子
／和田達生
／和田みな子
／渡辺彩智子

裕司
／小代利子
／小林仁美
／佐藤正明
・潤子
／佐藤雅子
／佐藤美千代
／澤田武憲
／三本松三津江
／設楽宏幸
／柴谷享一郎
／庄子幸子
／正法地由紀子
／新谷百代
／杉本明子
／鈴木千草
／瀬尻芳子
／田井中友子
／大仁孝太郎
／高木光子
／高瀬裕彦
／高美時郎
／高宮寿子
／辰登志男
／田中静枝
／田中通成
／Aviolat Daniel
／地本英子
／塚口泰子
／辻澄子
／藤間孝子
／戸田恭子
／鳥居洋一
／仲上順子
／長澤弘之
／中嶋啓子
／中島綾
／中塚鞠子
／中野為夫
／桂子
／中野通
／中山康夫
／那須トラピスト修道院
／西川龍夫
／西村節子
／西本悦子
／西森幸子
／丹羽和子
／布川理紗子
／根津千枝子
／萩原節子
／畠平恵子
／花房逸子
／英由季
／羽田孝彦
／原田和幸
／原田ひろみ
／東野栄子
／平野大東武
／福原智恵子
／藤原克彦
／藤原登志子
／藤原正昭
／藤原増子
／プリコラはりま
／古谷佳世子
／堀口節子
／本庄紀子
／松浦有理子
／杣江宏
／照子
／松尾慶治
／松本勝止
／溝口清子
／三林寿子
／元橋亮治
／森川佐和子
／森崎律子
／八木隆太郎
／山口かをる
／山下良一
／山野和子
／山本晴子
／山本久子
／山本正美
／(株)ユニバーサルインシアランス
／横井明子
／吉田幸子
／義村小夜子
／余根田保
／霊松寺岡村良孝
／渡辺荘六

Aviolat Daniel
／むやし小山教会
／教会学校
●ネパール・ジャザルコット地震被災者支援寄付
芦澤緑
／荒川雄毅
／幾谷眞規子
／伊藤亮三
／太田宣子
／大塚哲男
／大野篤一郎
／大橋一同
／大山行雄
／沖野雅一
／奥田順
／越智翼
／小野恵大
／鎌田重明
／木下達雄
／高松雅
／木村依江
／國松正輝
／久保田敬子
／栗山拓
／暮部恵子
／後藤雅子
／佐藤正明
・潤子
／佐藤雅子
／佐藤美千代
／重吉孝一郎
／設楽宏幸
／柴谷享一郎
／庄子幸子
／正法地由紀子
／浄土宗勝楽寺
／田井中友子
／高木光子
／高瀬裕彦
／高宮寿子
／山口裕子
／辰登志男
／田中通成
／塚口泰子
／藤間孝子
／仲上順子
／長澤弘之
／中島綾
／中塚鞠子
／中野通
／西森幸子
／布川理紗子
／根津千枝子
／萩原節子
／畠平恵子
／花房逸子
／英由季
／羽田孝彦
／原田和幸
／原田ひろみ
／東野栄子
／平野大東武
／福原智恵子
／藤原克彦
／藤原登志子
／藤原正昭
／藤原増子
／プリコラはりま
／古谷佳世子
／堀口節子
／本庄紀子
／松浦有理子
／杣江宏
／照子
／松尾慶治
／松本勝止
／溝口清子
／三林寿子
／元橋亮治
／森川佐和子
／森崎律子
／八木隆太郎
／山口かをる
／山下良一
／山野和子
／山本晴子
／山本久子
／山本正美
／(株)ユニバーサルインシアランス
／横井明子
／吉田幸子
／義村小夜子
／余根田保
／霊松寺岡村良孝
／渡辺荘六

●フレンドシップ国際基金／ネットワーク支援会
石神誠
／石原基義
／伊藤誠
／伊藤夕子
／上野孝一
／植村史子
／岡田一
／置田義男
／越智翼
／川端勝
／駒野秀典
／櫻井紘哉
／時事懇話会
／玉川丈夫
／出口眞之
／西田貞之
／根津千枝子
／橋本隆
／端無勝
／春奈登喜男
／菱川道生
／法花敏郎
／元木秀信
／森川建
／森川千代
／山下泰之
／湯川剛
／渡部高明
●フィリピン台風被災者支援寄付
本庄紀子
●ウクライナ緊急支援活動寄付
亀山常男
／芦澤緑
／天野澄子
／荒川雄毅
／安藤幹雄
／飯田有子
／幾谷眞規子
／大塩節子
／大塚哲男
／大野篤一郎
／大橋一同
／大山行雄
／沖野雅一
／越智翼
／小野豪臣
／鎌田重明
／神谷尚孝
／岸本玲子
／喜多榮子
／木下達雄
／高松雅
／木村依江
／國松正輝
／久保田敬子
／久米川良子
／栗山拓
／小出裕司
／後藤雅子
／佐藤正明
・潤子
／佐藤雅子
／三本松三津江
／重吉孝一郎
／設楽宏幸
／柴谷享一郎
／庄子幸子
／正法地由紀子
／田井中友子
／高木光子
／高瀬裕彦
／高宮寿子
／山口裕子
／辰登志男
／田中通成
／塚口泰子
／藤間孝子
／仲上順子
／長澤弘之
／中島綾
／中塚鞠子
／中野通
／西森幸子
／布川理紗子
／根津千枝子
／萩原節子
／畠平恵子
／花房逸子
／英由季
／羽田孝彦
／原田和幸
／原田ひろみ
／東野栄子
／平野大東武
／福原智恵子
／藤原克彦
／藤原登志子
／藤原正昭
／藤原増子
／プリコラはりま
／古谷佳世子
／堀口節子
／本庄紀子
／松浦有理子
／杣江宏
／照子
／松尾慶治
／松本勝止
／溝口清子
／三林寿子
／元橋亮治
／森川佐和子
／森崎律子
／八木隆太郎
／山口かをる
／山下良一
／山野和子
／山本晴子
／山本久子
／山本正美
／横井明子
／吉田幸子
／義村小夜子
／余根田保
／霊松寺岡村良孝

●スリランカ指定寄付
岡本佳子
●スリランカ・サルボタヤ支援会費
JAFS 歩く会
／JAFS 生駒地区会
／日生地区会
●アジア・フレンドシップ 夢基金寄付
JAFS 歩く会
／JAFS 生駒地区会
／日生地区会
●アジア植林支援寄付
(株)日本入試センター
●コスモニケタン指定寄付
岩田芳晴
／古賀旭
／コスモニケタン支援会
／姫野佐智子
●スリランカ・サルボタヤ支援会費
岡本佳子
●スリランカ指定寄付
JAFS 歩く会
／JAFS 生駒地区会
／日生地区会
●スリランカ・ピトゥリ基金・支援
JAFS 京都地区会
●ネパール・バイオガスを寄付
佐々木実
●ネパール学校建設支援寄付
佐々木実
●地球幸せ募金
小代利子
●フィリピン・水源の森寄付
(株)美ら森おきなわ財団
●フィリピン・ストリートトルドレン支援
JAFS 京都地区会

中国の内モンゴル自治区スリンホト出身です。日本の教科書にも載る「スーホの白い馬」の基の民話が生まれた所です。町に住んでいましたが、祖母が草原で牧畜をしていたので、学校の休み中はゲルで生活していました。

音楽とアニメ好きで日本へ

子どもの時から音楽が大好きでモンゴル民族音楽を学び、大学ではトロンボーンや竹笛、瓢箪笛を専攻。卒業後は講師として働きましたが、大学院で歌を学びたい希望を知った日本在住の姉が日本留学を勧めてくれました。子どもの頃からアニメやゲームで日本は身近な存在でしたし、近い外国ということで両親も許してくれました。

活躍するアジア



劉偉さん（中国内モンゴル自治区出身）

と湿気にもやられ、勉強嫌いの私にはつらい毎日でしたが、応援してくれた姉夫婦に心から感謝しています。私とJAFSの出会いにはYMC Aの先生の紹介で参加した「アジア屋台フェスティバル」。アジアの色んな国の人々と泊りで語り、互いの文化や料理を披露し合い、人と人との出会いは本

ユープランニング」と2つの楽団を立ち上げました。中国の二胡、古箏、笛を演奏する「JCM (Japan China Music) 民謡楽団」と、馬頭琴、ホーミー、モンゴル舞踊、トプシヨールなどモンゴルの伝統芸能を行う「スーホーの白い馬音楽楽団」です。メンバーは、日本に来てからの友人

モンゴル文化紹介ワークショップで、ひょうたん笛の説明

たち。学生時代に吹奏楽部長などをしていて、以前から楽団を作りたいと願っていたので、人と協力して舞台を作り上げていくのは本当に楽しいです。コロナが落ち着き、夢であった世界への演奏活動を今年から計画しています。6月にハングリーとルーマニアでのコンサートを予定し、フランス、イタリアなど他のヨーロッパ

でも調整中です。

当に素敵で素晴らしいものでした。国や民族によって違いも似ている習慣もあり、とても楽しい体験でした。

楽団立ち上げ人の心を豊かに

大学院ではオペラを専攻し、14年の卒業と同時に音楽事務所「株式会社リユーリ

私は、音楽は人の心を癒し元気にすると信じ、平和のためにも音楽を奏でたいと思っています。学生や子どもを指導する機会も増えましたが「職業として音楽家を目指すだけでなく、人の心を豊かにするために音楽を学んで

表現してほしい」と伝えていきます。モンゴルと日本の共鳴と融合

日本の中でも大阪や福岡は外国人もとても住みやすい街です。物価が安く、人情があり情熱的で、交通も便利。保険で医療を受けられるのは本当にありがたいです。最近ではモンゴルに帰っても、日本の暮らしが染みついているギャップを感じてしまいます。来日時は帰りたいとばかり思っていました。ですが、すっかり第2の故郷となりました。日本の伝統芸能や和楽器、太鼓、アイドルグループ、手品師とステージでコラボすることも増えました。モンゴル人と日本人が一番似ているのは自然が大好きで大切にすることで、とても共鳴します。今年以来15周年を迎え、コンサートも1500回を超えました。記念リサイタルや、故郷の白い馬祭りを訪れるモンゴルツアにも復活させたいと願っています。これからは頑張つて、モンゴルと日本の芸能と一緒に世界に発信し盛り上げ、大変な状況にある子どもを支援する社会貢献にもっと携わりたいです。

※来日15周年記念リサイタル

「劉偉世界を歌う」
日時：9月6日(月)
会場：兵庫県立芸術文化センター
お問合せ：office@lilyplanning.com

編集後記

故郷 郷島根の帰省先が無くなり、訪れる機会が減り寂しくなります。それにしても宍道湖は日本屈指の素晴らしい景色の湖だと思えます。嫁ヶ島とお地蔵さんが良いアクセント。出雲大社や松江城と共にぜひ！（川）

早朝に家庭菜園へ。雑草取りに汗を流し、トマトやカボチャの苗を植えました。アライグマが出没するので、家主が1頭を捕獲しました。モンシロチョウやセグロセキレイも飛来。ささやかな息抜きのひと時です。（敏）

職場のOB会の歩みを回顧する冊子を編集。会社の書庫で社内報を繰ると、成功談、失敗談にまじり、社員情報欄に娘の誕生報告の一行。記録し保存することの重みに「この際、我が家の歩みも」の思いもよぎる。（督）

春の長雨で野菜の収穫に大きな影響が出て、驚くような高値に。梅雨入りが発表されないうちに、5月下旬に梅雨末期のような警報級の大雨。異常気象が常態となり、今後どうなるのか恐怖すら覚える。（和）

V・N・ハリリ著「サピエンズ全史」によると現代人の特質は、虚構を信じ、寛大さに欠け、残酷なことだぞうだ。ガザやウクライナでの戦争を見て、なるほどと思う。自分の心には鬼を育てないよう気をつけたい。（黒）

入会・寄付のご案内

会員となって継続的に支援くださることで、安定した活動計画ができます。ご協力をお願いいたします。

- A. 維持会費 年額1口 12,000円 (月額1,000円)
- B. 賛助会費 年額1口 6,000円 (月額600円=振込手数料含む)
- C. ジュニア会費 (高校生まで) 年額1口 1,000円
- D. 団体会費 年額1口 20,000円
- E. 法人賛助会費 年額1口 50,000円

会費・寄付の振り込み先

三菱UFJ銀行中之島支店 普通1007011 または 楽天銀行リズム支店(209) 普通7006892 【口座名 シャ）アジア協会アジア友の会】

遺贈寄付で遺志をアジアへ

ご自身の大切な財産の一部を、JAFSへの遺贈（非課税）として生前に遺言に記していただくことにより、ご遺志をアジアの未来にお役立ていただけます。

遺された方が相続された遺産も、アジアの今後につながる寄付（非課税）として活かしていただくことができます。

環境コラム

庭の生物とのせめぎ合い

は鳩が巣作りをする兆候だとか。鳩が住みついてしまうと、早朝からの鳴き声や、糞で汚れるのが心配です。巣を作らせてあげたい気持ちは山々ですが、わが家は山が近くにあるので、山へ行って巣を作ってくれることを願い、うちの巣作りは阻止することにしました。さすがに卵を産んでしまってからでは可哀そうすぎます。くちばしに小枝をくわえて運んで来る鳩の姿も目にしたので、一刻も早く退散させなければヤバいと、まずは物音を立てて近寄せないことを試みました。そして、枝や葉が重なった奥の方の枝の上にあった、小枝で編んだ作りかけの巣を、傘でつついて落とさせていただきました。ゴメンナサイ。

野生の鳩は鳥獣保護法で守られており、駆除したり、卵がある巣を撤去することは禁じられています。鳩がおらず卵を産む前の巣なら撤去しても法律違反でないそうです。ここまでなら心の痛みも少ないです。やはり生き物の命に触れる手前までなら許されるということなのでしょう。

生き物を大切にする気持ちは持っているつもりで、神社など自分の領域外の鳩はのどかに見ているのですが、自分の生活との境界線上では、人間の営みを守る方向に動いてしまいますね。人間側から踏み込み過ぎると環境問題。どこでバランスを取るか…ですね。（JAFSスタッフ 川本 裕子）

皆さんのお宅でもカメムシをたくさん目にしますか？わが家では4月終わりに気温が上がった途端から玄関灯に大量に襲来！テレビでも話題にされていますね。寿命1年半のカメムシが暖冬で凍死せず、越冬して春まで生き残るケースが増えているとか。梅雨前後に産卵し、数十個の卵の塊が1週間から10日で孵化するそうなので、孵化したカメムシが越冬すると、今年メス1匹が来年は数十匹に増える!? わが家ではカメムシの農作物被害は心配ないので、匂いだけなら別に結構と放っていましたが、こんなに激増するなら卵はゴメンナサイと処分させてもらう方が良いでしょうか。

実は私はこれまで何度か、蛾の一種、アメリカシロヒトリをゴメンナサイと駆除させてもらっています。放っておくと、産み付けられた卵から秋に孵った幼虫が、山桜の葉っぱを丸裸にするほど食べてしまい、糞害もすごいのです。アメリカシロヒトリは雪の女王のようにゴージャスな白い毛をまとった蛾ですが、殺虫剤をシュッ…。外来種なので駆除の理由も立つかと。

そして昨年8月の出来事。庭の木に鳥がいる気配を感じる日々が続きました。近寄ると飛び立っていきますが、鳩のようです。鳥がやって来るなんて、生き物に心地よい自然がわが家にあるという嬉しいことです。が、少し調べてみると、これ



▲パダトラ学校の中学1年生。奨学金のための試験を受けに街に出て、初めて動物園を訪れた。2月26日、インド、マハラシュトラ州ゴート市

◀表紙の写真 卒業記念に校庭に植樹するコスモニケタン学園の卒業生。後輩が世話をし成長を見守る。3月29日、インド、カルナータカ州ビジャプール、コスモニケタン学園校庭。4〜6ページに特集記事



募金にご協力をお願いします

アジアの安全な飲料水がない地域で
貧困に苦しむ人々を支援する活動に使われます

郵便振替 00960-6-10835 アジア協会アジア友の会

編集・発行：公益社団法人 アジア協会アジア友の会
(JAFS)

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5階
☎ 06-6444-0587 FAX 06-6444-0581 E-mail asia@jafs.or.jp
URL: <https://jafs.or.jp> Facebook: <https://www.facebook.com/JAFS.NGO/>

2024年7月 158号 発行人：篠原勝弘 編集人：吉田俊朗
広報企画委員長：法花敏郎
編集アドバイザー：松本 督、黒沢雅善
編集スタッフ：熱田典子、大本和子、柿島 裕、金井英夫
川本裕子

印刷製本：あさひ高速印刷株式会社



Accountability Self-Check 2023



HPもご覧ください